

1000迄 (1173件)

- 951年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<即位>シャッタート朝国王「ムハマト・ベン・シャッタート」(~954年)
- 951年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェロナ辺境伯「Henry1世」(~955/1101死去)
- 951年 00:00|イギリス| |||<死去>ケリウイング王「Cadwgan ab Owain」
- 951年1月1日-01:00|スペイン| |||<死去>レオン国王「ラムロ2世」
- 951年1月1日-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王「オドネ3世」(~956年死去)
- 951年1月2日-08:00|中国| ||後漢・乾祐3年11月22日|<死去>後漢第2代皇帝「隠帝(劉承祐)」枢密使郭威の反乱が
発生し、乱軍に捕まり殺害された
- 951年2月9日-09:00|日本|東京都港区|天曆5年|氷川神社創建(赤坂)
- 951年2月9日-08:00|中国| ||大理・至治6年|<死去>前大理第3代皇帝「文成帝(段思良)」
- 951年2月9日-08:00|中国| ||大理・至治6年|<即位>前大理第4代皇帝「広慈帝(段思聰)」(~969年)
- 951年2月13日-08:00|中国| ||後周・広順1年1月5日|<即位>後周初代皇帝「太祖(郭威)」(~954年2月22日)周(後周)
を建国(都は開封)、「広順」に改元(-953年)荊南・呉越も改元
- 951年2月24日-08:00|中国| ||北漢・乾祐4年1月16日|<即位>北漢初代皇帝「世祖神武帝(劉崇)」名を劉旻と改め
た(~954年)「乾祐」を使用(-956年)
- 951年7月7日-08:00|中国| ||北漢・乾祐4年;後周・廣順1年6月1日|劉崇、周に攻められ、遼に援を乞う
- 951年10月-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「フランク・ローマ帝国皇帝オットー1世偉大王」(~952/807)
- 951年10月4日-08:00|中国| ||楚・保大9年9月|<即位>楚第6代皇帝「廢王(馬希崇)」(~951年)南唐の臣下と称し南
唐の正朔を奉じた
- 951年10月4日-08:00|中国| ||楚・保大9年9月|<廢位>楚第5代皇帝「恭孝王(馬希萼)」徐威などの将領が決起、囚
われ衡山県に軟禁される
- 951年10月4日-08:00|中国| ||遼・天祿5年;後周・廣順1年9月1日|遼、周を攻める
- 951年10月7日-08:00|中国| ||遼・天祿5年9月4日|<死去>遼可汗「世宗(耶律兀欲)」察割らに暗殺された/年34
- 951年10月11日-08:00|中国| ||遼・応曆1年9月8日|<即位>遼可汗「穆宗(耶律述律)」(~応曆19年2月22日(969年3
月12日)、応曆(-969年)と改元
- 951年11月2日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天曆5年10月|下鴨神社弊殿が焼失
- 951年12月1日-09:00|日本|京都府京都市|天曆5年10月30日|撰和歌所を置き藤原伊尹を別当とする
- 951年12月2日-08:00|中国| ||南唐・保大9年;楚・保大9年11月|<退位>楚第6代皇帝「廢王(馬希崇)」南唐に投降/
南唐は楚を併合
- 951年12月31日-09:00|朝鮮| ||高麗・廣順1年12月|高麗、後周年号(廣順1年)を施行
- 952年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Udaya2世」Sena2世の甥(~955年)
- 952年-01:00|フランス| |||<死去>ブルグニョ公・サント伯「アラン2世狡猾公」
- 952年-01:00|フランス| |||<即位>ブルグニョ公・サント伯「トドロ」アラン2世の1人息子(~958年死去)
- 952年 00:00|イギリス| |||<即位>ノーザンブリア王「Eirikr blodhox Haraldsson」(2期目~954年死去)
- 952年1月1日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|天曆5年12月2日|醍醐寺・五重塔の落慶法要(京都で最古の五重塔
)
- 952年1月30日-08:00|中国| ||大理・明德1年|大理4代・段思聰が明德と改元(-969)
- 952年8月7日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「ベレンガリオ2世」(~961年10月)、「アタルベルト2世」(2回目~961年10月、オ
ットー1世に追放される)
- 952年8月7日-01:00|イタリア/ドイツ/オーストリア/フランス| |||トリエステはフランク・ローマ帝国の一部
- 952年9月6日-09:00|日本| ||天曆6年8月15日|<死去>第61代「朱雀法皇」30歳(誕生:延長1(923)0724)
- 952年10月24日-08:00|中国| ||南唐・保大10年10月3日|楚の遺臣の劉言が潭州長沙府を襲い、南唐の占領軍を追
い出して自立
- 952年12月17日-01:00|フランス| |||<死去>ブルグニョ公・トドロ伯「ユグ黒公」
- 952年12月17日-01:00|フランス| |||<即位>ブルグニョ公・トドロ伯「ジルベール」(~956/408死去)
- 953年-04:00|アルメニア| |||<死去>ハゲラトゥ朝アルメニア王「アバシ1世」
- 953年-04:00|アルメニア| |||<即位>ヴァスプラカン王「アブサル・ハマザス」(~972年)
- 953年-04:00|アルメニア| |||<即位>ハゲラトゥ朝アルメニア王「アショット3世」(~977年、死去)
- 953年-01:00|フランス| |||<死去>レンヌ伯「Judicael Berengar」
- 953年-01:00|イタリア| |||<即位>スペレート公「セオバルト2世」(~959年)
- 953年-01:00|フランス| |||<即位>ロランギア大公「フルノリウト・ルフィング」家、ケルン大司教、皇帝オットー1世の弟(~965年)
- 953年-01:00|ドイツ/イタリア| |||ドイツ・イタリア王オットー1世オットー1世が息子ロイトルフと娘婿コンラートの反乱を鎮圧
- 953年 00:00|イギリス| |||<死去>デハバース対立王「ロドリック・ハウェル」
- 953年3月19日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<死去>ファティマ朝第3代カリフ「アル・マンズール・ビラー」
- 953年3月19日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<即位>ファティマ朝第4代カリフ「アル・ムイッス・リテイナー」(~975/1219死去)エジプト
を支配下に
- 953年3月29日-09:00|日本|京都府京都市|天曆7年2月12日|京都火災、藍園町(大炊事御門北・町尻東)より失火し、
神祇官後庁類焼
- 953年11月11日-08:00|中国| ||遼・應曆3年10月2日|宛(李胡の次子)、謀反、囚われる
- 954年-08:00|インドネシア| |||<即位>スンダ王国マハラジャ「Limbur Kencana」(~964年)
- 954年-07:00|ベトナム| |||<死去>呉朝国王「呉昌岷(天策王)」
- 954年-05:30|インド| |||<即位>プラーティハール朝国王「ヴァイヤーカハール」(~955年)
- 954年-01:00|イタリア| |||<即位>カレツ君主「Ahmad ibn al-Hasan al-Kalbi」(~969年)

1000迄 (1173件)

- 954年-01:00|ドイツイス| ||<即位>シュヴァーベン大公「ブルヒルト3世」ブルヒルト2世の子(〜9731112死去)
- 954年-01:00|ドイツイス| ||<退位>シュヴァーベン大公「リウトルフ」(〜9570906死去)
- 954年 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド王「マルカム1世危険な赤王」
- 954年 00:00|イギリス| ||<死去>デハバース対立王「エドウィン・アブ・ハウエル」
- 954年 00:00|イギリス| ||<死去>ノーザンブリア王「Eirikr blodhox Haraldsson」
- 954年 00:00|モロッコ| ||<死去>モロッコ国王「アブ・アル=アイシュ=アマト・イブン=アル=カスィム=ガンヌーン(アマト1世)」
- 954年 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド王「インダルフ積極王」コンスタンティン2世の息子(〜962年死去)
- 954年 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ国王「アル=ハサン=イブン=アル=カスィム=ガンヌーン(ハサン2世)」(〜974年)
- 954年 00:00|イギリス| ||ノーザンブリアはイギリスに併合
- 954年2月6日-08:00|中国| ||北漢・乾祐7年|<死去>北漢初代皇帝「世祖神武帝(劉旻)」病没
- 954年2月6日-08:00|中国| ||北漢・乾祐7年|<即位>北漢第2代皇帝「睿宗孝和帝(劉鈞)」(〜天会12年7月27日(968年8月23日))
- 954年2月6日-08:00|中国| ||後周・顯徳1年|後周において郭威が顯徳(-960年1月)と改元
- 954年2月22日-08:00|中国| ||後周・顯徳1年1月17日|<死去>後周初代皇帝「太祖(郭威)」
- 954年2月26日-08:00|中国| ||後周・顯徳1年1月21日|<即位>後周第2代皇帝「世宗(柴榮)」(〜959年7月27日)
- 954年4月16日-09:00|日本| 京都府京都市|天曆8年3月11日|冷然院を冷泉院と改める
- 954年8月-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| ||<死去>サーマン朝第5代アミール「ヌ=71世」
- 954年8月-05:00|ウズベキスタン/イラン| ||<即位>サーマン朝第6代アミール「アブト・アル=マリク1世」(〜9611123死去)
- 954年8月31日-08:00|中国| ||後周・顯徳1年8月|王逵は、朗州に劉言を攻め滅ぼした
- 954年9月10日-01:00|フランス| ||<死去>西フランク王「ルイ4世渡海王」落馬事故のため死去
- 954年9月28日-09:00|日本| ||天曆8年8月29日|<死去>雅子内親王(生年910年/皇女、伊勢斎宮、藤原師輔の室)
- 954年10月13日-09:00|日本| ||天曆8年9月14日|<死去>重明親王(生年906年、皇族)
- 954年11月12日-01:00|フランス| ||<即位>西フランク王「ロテル」ルイ4世の子(〜09860302死去)
- 955年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Sena3世」Udaya2世の兄弟(〜964年)
- 955年-05:30|インド| ||<即位>プラーティハール朝国王「マヘンダー2世」(〜956年)
- 955年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||<死去>カラハン朝ハン「サトゥク・ボグラーハン」
- 955年-04:00|アゼルバイジャン| ||<即位>ラヴィッド朝君主「Husain1世」(〜988年)
- 955年-01:00|フランス| ||<即位>アキテーヌ公「Hugh the Great」(〜962年)
- 955年1月27日-08:00|中国| ||後周・顯徳2年初頭|後周・(世宗)柴榮:四川の後蜀を攻めて秦州(現甘肅省天水)を初めとする4州を奪った
- 955年5月24日-08:00|中国| ||後周・顯徳2年5月|後周・世宗が廢仏をおこなう
- 955年6月-02:00|シリア/アラブ| ||サイフ・アッタウガがサラミーヤの戦いでアラブ遊牧民の連合軍を破る
- 955年8月10日-01:00|ドイツイス| ||<死去>西フランク大公「コンラート赤毛公」
- 955年8月10日-01:00|ドイツイス/ハンガリー| ||<レフェルトの戦い>オットー1世の東フランク軍が、侵入したハンガリー大公国騎馬民族(マジャール人)に壊滅的な打撃を与える
- 955年9月-01:00|オーストリア| ||<就任>オーストリア侯「ブルハルト」(〜976年7月)
- 955年10月-01:00|ハンガリー| ||<即位>ハンガリー大公「タクシー・フィア・ソルト」ジヨルトの息子(〜971年没)
- 955年11月1日-01:00|ドイツイス/オーストリア/イタリア| ||<死去>バリエル大公「ハインリヒ1世」兼ウエーナ辺境伯
- 955年11月1日-01:00|ドイツイス/オーストリア/イタリア| ||<即位>バリエル大公「ハインリヒ2世(喧嘩公)」(〜976年従兄のローマ皇帝オットー2世と争い、公国を召し上げられた)兼ウエーナ辺境伯(〜975年廃位)
- 955年11月8日-01:00|バチカン| ||<死去>第129代ローマ教皇「アガペトウス2世」
- 955年11月23日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリス王「エドレット」約32歳
- 955年11月24日 00:00|イギリス| ||<即位>イギリス王「エドウィン」エドマント1世とエルクヴァの男子(〜09591001死去)
- 955年12月16日-01:00|バチカン| ||<就任>第130代ローマ教皇「ヨハネス12世」(〜09640514死去)
- 955年12月17日-08:00|中国| ||後周・顯徳2年;南唐・保大13年11月|世宗自らが率いた後周の軍勢が南唐に侵攻し、正陽(現在の安徽省鳳陽県)で南唐の軍勢を大いに破り、寿州の城を困んだ/さらに趙匡胤に命じてジヨ州を占領させた
- 956年-05:30|インド| ||<死去>チョーラ朝国王「Gandaraditya Chola」
- 956年-05:30|インド| ||<即位>チョーラ朝国王「Arinjaya Chola」(〜957年死去)
- 956年-05:30|インド| ||<即位>プラーティハール朝国王「ウァイシヤハ-2世」(〜960年)
- 956年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||<即位>カラハン朝ハン「ム=サー」サトゥクの子(〜958年)
- 956年-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマム「アルムクター=アルカジム」
- 956年-01:00|スペイン| ||<死去>レオン国王「オルド=ニョ3世」
- 956年-01:00|ベルギー-| ||<就任>シニ-伯「Otto1世」(〜987年死去)
- 956年-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王「サンチョ1世」(〜958年退位〜966年死去)
- 956年-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| ||モラヴィアをボヘミアが支配(〜10040908)
- 956年 00:00|アイルランド| ||<死去>アイルランド上王「コンガラッハ=クノグハ=マック=マ=イル ミトハイ」
- 956年 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド上王「ド=ナル=マック=ミューアチヤ=タイ」(〜980年没)
- 956年2月15日-08:00|中国| ||南唐・保大14年|楚・馬希萼の武将であった周行逢が南唐の支配を退けて再び湖南を制圧(-962年)
- 956年2月15日-08:00|中国| ||南唐・保大14年;後周・顯徳3年|南唐は寿州へ救援軍を差し向けるが、世祖自ら率いる後周の軍に紫金山(寿州城の東北)にて敗れ、ついで寿州は後周に占領され、さらに濠州・泗州・揚州・泰州が

1000迄 (1173件)

後周に奪われた

- 956年4月8日-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴ-ニユ公・トワ伯「ジルベール」
956年4月8日-01:00|フランス| |||<就任>トワ伯「ロベルト2世」(モ-伯「ロベルト」)(~967年死去)
956年4月8日-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴ-ニユ公「オトン」(~09650222)
956年6月4日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャ-朝国王「Muhammad3世」
956年6月4日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ-朝国王「Ahmad1世」前王の息子(~981.6死去)
956年6月16日-01:00|フランス| |||<死去>ハリ伯「ユグ 大公」
956年6月16日-01:00|フランス| |||<就任>ハリ伯「ユグ・カペー」(~9961024死去)
957年-05:30|インド| |||<死去>ジョーラ朝国王「Arinjaya Chola」
957年-05:30|インド| |||<即位>ジョーラ朝国王「ハラントカ2世(スダラ・ジョーラ)」(~970年)
957年-04:00|アゼルバイジャン| |||<死去>サリド朝(アゼルバイジャン)国王「Marzuban ibn Muhammad」
957年-04:00|ジョージア| |||<即位>アブハズア王「レオン3世」(~967年)
957年-04:00|アゼルバイジャン| |||<即位>サリド朝(アゼルバイジャン)国王「Justan1世 ibn Marzuban」(~960年死去)
957年-01:00|スペイン| |||<死去>ヘサル伯「Wilfred2世」
957年-01:00|イタリヤ| |||<就任>アマルフィ公「マスタス2世」(~958年死去)
957年-01:00|フランス| |||<就任>加カソヌ伯「Roger1世」ArsendaとArnoldの息子(~1012年),「Raymond2世Roger」「Peter1世Roger」Roger1世の息子(~1010年)
957年-01:00|スペイン| |||<就任>ヘサル伯「Sunifred」(~968年死去)
957年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソカイ王国国王「ヤマトンボ」(~969年)
957年2月3日-08:00|中国| ||北漢・天会1年|北漢において劉繼元が天会(-973年)と改元
957年3月5日-08:00|中国| ||後周・顯徳4年2月|柴栄は急建造した水軍をもって再び淮南にたった/紫金山に陣取る南唐軍5万のうち4万を壊滅させた柴栄はその勢いで寿州城もついに陥とした
957年4月10日-09:00|日本|京都府京都市山科区|天暦11年3月8日|元慶寺の僧坊・雑舎焼亡
957年5月9日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「エドガ-平和王」エドマント1世とエルギヴァの男子(~09750708死去)
957年7月5日-09:00|日本| ||天暦11年6月6日|<死去>康子内親王(生年919年、皇族)
957年10月26日-08:00|中国| ||後周・顯徳4年;南唐・保大15年10月|楚州が後周に奪われ、両軍は長江を挟んで対峙、長江での水軍同士の戦いで南唐は大敗
957年11月21日-09:00|日本| ||天徳1年10月27日|天暦から天徳に改元
957年11月24日-08:00|中国| ||後周・顯徳4年;南唐・保大15年11月|柴栄は、濠州から少し離れた淮河の渡河地点である渦口を押さえるために、ここを守っていた南唐水軍と戦い、斬首5千、奪船3百艘、投降2千余人という勝利
957年12月24日-08:00|中国| ||後周・顯徳4年;南唐・保大15年12月|泗州城主范再遇は、後周軍のあまりの激しい攻撃を受け城を出て降伏
958年-05:00|キルギス/ウスベキスタン/中国| |||<即位>カラハン朝ハン「Suleyman Arslan Khan」(~970年)
958年-04:00|ジョージア| |||<死去>イベリア王「スハト1世」
958年-04:00|ジョージア| |||<即位>イベリア王「ハゲラト1世」(~994年死去)
958年-01:00|イタリヤ| |||<死去>アマルフィ公「マスタス2世」
958年-01:00|オランダ| |||<死去>エノー伯「レニ3世」
958年-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王「ゴ-ム老王」
958年-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴ-ニユ公・ナト伯「ドゥコ」59歳
958年-01:00|オランダ| |||<就任>エノー伯「ゴトフロワ1世」(~964年死去)
958年-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「ボートヴァン3世」(~9620101死去)父のアヌル1世(大伯)と共同統治
958年-01:00|フランス| |||<就任>レス伯「Gonan1世 the Crooked」(⇒990年兼レス公~9920627死去)
958年-01:00|イタリヤ| |||<即位>アマルフィ公「セルギウス1世」(~966年死去)
958年-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「ハラル1世」ゴ-ム老王とテューラの息子(~09861101死去)
958年-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王「オルド-ニヨ4世」(~960年退位~962年死去)
958年-01:00|スペイン| |||<退位>レオン国王「サンチヨ1世」(~966年死去)
958年1月20日-09:00|日本| ||天徳1年12月28日|<死去>大江朝綱(生年886年/公卿、書家)
958年1月23日-08:00|中国| ||南唐・中興1年1月|南唐において李璟が中興(-2月)と改元
958年3月23日-08:00|中国| ||後周・顯徳5年3月|たびたび侵略してくる契丹、北漢軍を叩くため、燕雲十六州に對して親征/益津関、瓦橋関の抵抗を粉碎して、瀛、莫2州を回復
958年3月23日-08:00|中国| ||南唐・交泰1年3月|南唐において李璟が交泰(-5月)と改元
958年4月16日-09:00|日本| ||天徳2年3月25日|乾元大宝鑄造(皇朝十二銭の最後)できる
958年4月21日-09:00|日本|京都府京都市|天徳2年3月30日|法性寺焼亡
958年5月5日-09:00|日本|京都府京都市|天徳2年4月14日|右京一条二坊一二七八町に火事
958年5月21日-09:00|朝鮮| ||高麗・光宗10年5月|高麗が科挙制度を創設
958年5月21日-08:00|中国| ||後周・顯徳5年;南唐・交泰1年5月|南唐皇帝・李璟は後周国に降伏、長江以北の領土割譲
958年6月20日-08:00|中国| ||後周・顯徳5年;南唐・顯徳5年6月|南唐・李璟は後周の世宗・柴栄に使者を送り、自ら臣下と称して国号および帝号を廃止、江南国国主を自称し後周の年号「顯徳」を用いた(以後975年まで後周の年号を使用)
958年7月4日-09:00|日本|京都府京都市|天徳2年6月15日|二条院焼亡
958年9月16日-08:00|中国| ||南漢・大宝1年8月|南漢・劉鋹が大宝に改元(-971年)

1000迄 (1173件)

958年9月18日-08:00|中国| ||南漢・大宝1年8月3日|<死去>漢(南漢)皇帝「中宗・劉晟」享年39
958年9月18日-08:00|中国| ||南漢・大宝1年8月3日|<即位>南漢第4代皇帝「後主(劉鋹)」(~971年)
958年11月11日-01:00|フランス| ||<死去>アンジュー伯「フルク2世善良伯」
959年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャンパ王「ジヤ・インドラヴァルマン1世」(~965年)
959年-05:30|インド| ||<即位>パラ朝国王「ゴパラ2世」(~976年)
959年-05:30|インド/スリランカ| ||チョラ朝パランカガ2世の軍隊がセイロンに侵入
959年-01:00|フランス| ||<就任>下ロリングア辺境伯「ゴトフロ1世」(後下ロリングア公~964年死去)
959年-01:00|フランス| ||<就任>上ロリングア辺境伯・バル伯「フレリク1世」(のち上ロリングア公~9780518死去)
959年-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国第22代ドージェ(元首)「ピエトロ・カンティアーノ4世」(~976年)
959年-01:00|イタリア| ||<即位>カリア公「ランドルフ5世the Bold」兼ベネチア大公「ランドルフ3世」(~968.12死去)
959年-01:00|イタリア| ||<即位>スレート公「トランスモン3世」(~967年)
959年 00:00|ポルトガル| ||<就任>ゴンゾラ伯「Gonzalo Munoz」(~966.12)
959年4月11日-08:00|中国| ||後周・顯徳6年3月|後周・(世宗)柴榮:燕雲十六州のうち、南寄りの2州を奪取
959年6月9日-08:00|中国| ||後周・顯徳6年;遼・應曆9年5月1日|周、遼を攻め瀛州(河北省河間県)・莫州(河北省任丘県)を陥れ15州になる
959年6月12日-08:00|中国| ||後周・顯徳6年;遼・應曆9年5月4日|周、易州を陥れ14州になる
959年7月5日-08:00|中国| ||後周・顯徳6年5月27日|周、軍を還す
959年7月27日-08:00|中国| ||後周・顯徳6年6月19日|<死去>後周第2代皇帝「世宗(柴榮)」
959年7月28日-08:00|中国| ||後周・顯徳6年6月20日|<即位>後周第3代皇帝「恭帝(柴宗訓)」7歳(~960年2月3日)
959年9月8日-09:00|日本|京都府京都市|天徳3年8月3日|藤原師輔の桃園第雑舎焼亡
959年10月1日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリス王「エドゥィ」約19歳
959年10月5日-09:00|日本| ||天徳3年9月|<任命>鎮守府将軍「源仲舒」(~不詳)
959年10月5日-09:00|朝鮮| ||高麗が10道を定め州県制を施行
959年11月9日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝「マクドニア朝」「コンスタンヌス7世」(誕生906年)
959年11月9日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝「マクドニア朝」「ロマヌス2世」コンスタンティヌス7世とロマヌス1世レカパヌスの娘レネの子(~9630315死去)
960年-09:00|朝鮮| ||高麗が皇都を開京に定める
960年-05:30|インド| ||<即位>パラティハラ朝国王「ラジヤハラ」(~1018年)
960年-05:00|カザフスタン/キルギス| ||カラハ朝がイスラム教を受容し、トルコ系初のイスラム王朝に
960年-04:00|アゼルバイジャン| ||<死去>サラト朝「アゼルバイジャン」国王「Justan1世 ibn Marzuban」
960年-04:00|アゼルバイジャン| ||<即位>サラト朝「アゼルバイジャン」国王「Ismail ibn Wahsudan」(~962年)
960年-01:00|セルビア/ブルガリア| ||<死去>セルビア王「チャスラフ」マジャール人に捕らえられ、溺死/義理の息子ティホミルが後を継いで「ラシア」の支配者となった。国家は崩壊してザンチン帝国とブルガリアに併合された
960年-01:00|フランス| ||<就任>アンジュー伯「ジヨフロ1世灰衣伯」フルク2世善良伯の息子(~99870721死去)
960年-01:00|フランス| ||<就任>ザルトル伯・ブロー伯「Theobald1世」(~975年死去)トゥール伯
960年-01:00|フランス| ||<就任>ノット伯「Hoel1世」(~981年死去)
960年-01:00|ノルウェー| ||<即位>グイケン王「Trygve Olavsson」(~963年)
960年-01:00|フランス| ||<即位>ブルターニュ公「オエル1世」アラン2世とジュテイトの庶子(~981年死去)
960年-01:00|ポーランド| ||<即位>ポーランド公「ミシュコ1世」シェミスクの息子(~9920525死去)
960年-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王「サンチョ1世」(~966年死去)
960年-01:00|スペイン| ||<退位>レオン国王「オルトネヨ4世」(~962年死去)
960年1月7日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天徳3年12月7日|紫宸殿の前庭に、橋を植える(右近の橋)
960年1月31日-09:00|朝鮮| ||高麗・峻豊1年|高麗で峻豊(-962)と改元
960年1月31日-08:00|中国| ||後周・顯徳7年1月1日|遼・北漢連合軍が南下して後周を攻撃との報が入り、周朝は殿前都点検の趙匡胤を派兵
960年2月3日-08:00|中国| ||後周・顯徳7年1月4日|<即位>北宋初代皇帝「太祖」(~開宝9年10月20日(976年11月14日)死去)
960年2月3日-08:00|中国| ||後周・顯徳7年1月4日|<退位>後周第3代皇帝「恭帝(柴宗訓)」首都開封の東北の陳橋駅において、幼帝に不安を抱いた軍人達が反乱(陳橋の変)開封を占領
960年2月4日-08:00|中国| ||宋・建隆1年1月5日|北宋初代皇帝「太祖」国号を大宋とし建隆と建元(~963年(4年11月))
960年3月30日-09:00|朝鮮| ||高麗・峻豊1年3月|高麗が百官の公服を制定
960年4月15日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|天徳4年3月17日|摂津の四天王寺が焼失
960年9月20日-08:00|中国| ||荆南・建隆1年8月27日|<死去>荆南第3代皇帝「貞懿王(高保融)」
960年9月20日-08:00|中国| ||荆南・建隆1年8月27日|<即位>荆南第4代皇帝「高保勗」(~962年12月19日)宋朝より荆南節度使に任じられた
960年10月16日 14:00|日本|京都府京都市|天徳4年9月23日|<平安京内裏初めて全焼>23時ごろ平安京の内裏(皇居)東門の宣陽門の左衛門陣から出火し794年の平安建都いらい初めて内裏が全焼/この時、温明殿の内侍所に納めてあった天皇家三種の神器の一つの神鏡(八咫鏡)も持ち出す暇なく焼けた
960年10月22日-09:00|日本|京都府京都市|天徳4年9月29日|観学院庁舎が焼失
960年10月27日-09:00|日本|京都府京都市|天徳4年10月5日|大学寮南堂曹司・算堂など焼亡
960年11月1日-08:00|中国| ||遼・應曆10年10月10日|喜隱(李胡の長子。完徳)、謀反。李胡、獄に下り、そこで薨じ

1000迄 (1173件)

る。年50

- 961年-03:30|イラン| |||<即位>ハサンウェイット 朝国王「Hasanwayh」建国 (~979年死去)
- 961年-03:00|イラク| |||<即位>マスヤド 朝アミール「アリ1世・イブン・マスヤド・アル=ナーシリー、サ=ウタウ」中部イラクのヒラに建国 (~1017年)
- 961年-02:00|エジプト| |||<死去>イフシト 朝第2代ワリー「アブ=ルカジム・ウヌア=イブン=アルイクシト」
- 961年-02:00|エジプト| |||<即位>イフシト 朝第3代ワリー「アブ=ルハッサン=アリ=イブン=アルイクシト」 (~966.1死去)
- 961年-01:00|ルウェー| |||<死去>ルウェー王「ホ=コン1世(善王)」
- 961年-01:00|イタリヤ| |||<死去>ベ=ネ=セント大公「ラント=ル74世赤王」
- 961年-01:00|ドイツ| |||<就任>ザ=ケン辺境伯「ヘルマン=ヒルング」 (~09730327死去)
- 961年-01:00|フランス| |||<就任>トゥール=ス=伯「ユ=グ」 (~972年)
- 961年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カ=ア公「ハ=ンダ=ル71世 Ironhead」共同統治 (~981.3死去)
- 961年-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「ハ=ラル2世灰衣王」 (~970年死去)、**「ラ=ク=ソ=フロト=エイリクソン=グ=ンヒルト=ソン」** (~970年)、**「ア=リ=ク=エイリクソン」** (~969年)、**「グ=ド=ロト=エイリクソン」** (~970年)、**「シ=グ=ルト=エイリクソン奴隷王」** (~964年)
- 961年-01:00|イタリヤ| |||<即位>モンフェッラート侯「アレ=モ」 (~991年死去)、**「カ=リエル2世」**(共同統治者)**「アレ=モの長男**
- 961年1月20日-08:00|中国| ||南唐・建隆2年|南唐・李璟、洪州(江西省南昌)に遷都
- 961年1月20日-08:00|中国| ||宋・建隆2年1月|「唐会要」完成
- 961年3月5日-09:00|日本| ||応和1年2月16日|天徳から応和に改元
- 961年3月7日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||クレタ島はビザンチン支配が復活
- 961年3月16日-09:00|日本| ||応和1年2月27日|酉刻、坤方に彗星
- 961年5月26日-01:00|ドイツ| |||<即位>ト=イツ王「オット=2世赤帝」オット=1世の息子(9671225共同皇帝⇒9730507神聖ローマ皇帝~9831207死去)
- 961年8月12日-08:00|中国| ||南唐・建隆2年6月28日|<死去>南唐2代皇帝「元宗(李璟)」47歳で病死
- 961年8月12日-08:00|中国| ||南唐・建隆2年6月28日|<即位>南唐3代皇帝「後主(李煜)」 (~976年1月1日)金陵で即位
- 961年10月-01:00|イタリヤ| |||<即位>イタリヤ王「フランク=ローマ帝国皇帝オット=1世偉大王」 (~09730507死去)
- 961年10月-01:00|イタリヤ| |||<即位>イタリヤ対立王「イ=グ=リア候ベ=レ=ンガ=ロー2世」 (~09631202)
- 961年10月-01:00|イタリヤ| |||<廃位>イタリヤ王「ベ=レ=ンガ=ロー2世」神聖ローマ皇帝オット=1世に滅ぼされる;「ア=タル=ベルト2世」オット=1世に追放される
- 961年10月15日-01:00|スペイン| |||<死去>後ウマイヤ朝初代カリフ「アブ=ド=アッラフマン3世」
- 961年10月15日-01:00|スペイン| |||<即位>後ウマイヤ朝第2代カリフ「ハカム2世」 (~09761016死去)
- 961年11月23日-05:00|イス=ラーム/イラン| |||<死去>サーマン朝第6代アミール「アブ=ド=アル=マリク1世」
- 961年11月24日-05:00|イス=ラーム/イラン| |||<即位>サーマン朝第7代アミール「マンス=ル1世」 (~09760613死去)
- 961年12月11日-09:00|日本| |京都府京都市| 応和1年11月|内裏再建される
- 961年12月20日-09:00|日本| || 応和1年11月10日|<死去>経基流清和源氏の初代・源経基(経基王)
- 962年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>ガ=ス=ナ朝君主「アル=テ=ギ=ン」サーマン朝の総督がガ=ス=ナを占領し創始 (~0963.9死去)
- 962年-04:00|アゼルバイジャン| |||<即位>サラト朝(アゼルバイジャン)国王「Ibrahim1世 ibn Marzuban1世」 (~979年)
- 962年-04:00|ロシア| |||<即位>ノ=ゴ=ロト=公「ス=グ=ヤ=ス=ラフ=イ=コ=リ=グ=イ」 (~969年)
- 962年-01:00|フランス| |||<就任>サ=ボ=ル伯「アルヌル2世」フランドル伯 (~9870330死去)
- 962年-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「キヨム3世」ボ=ワ=ウ=伯 (~9630403死去)
- 962年 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「インダ=ル積極王」
- 962年 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「ダ=フ激烈王」 (~09660720)
- 962年1月1日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯「ボ=ド=ウアン3世」
- 962年2月2日-01:00|ドイツ/イタリヤ/オーストリア/チェコ| |||<即位>初代神聖ローマ皇帝「オット=1世大帝」王妃ア=テ=ルハイトとともに戴冠(東フランク王~9730507死去)神聖ローマ帝国の成立
- 962年2月8日-09:00|朝鮮/中国| ||高麗・峻豊3年:宋・建隆3年|高麗、宋に初めて遣使
- 962年2月8日-08:00|中国| ||北宋・建隆3年|高昌ウイグルの使節が宋へ派遣
- 962年2月8日-08:00|中国| ||北宋・建隆3年|タングートで親宋派と離反派の内紛がおり、宋が援軍を派遣
- 962年10月1日-09:00|日本| || 応和2年8月30日|<応和2年の近畿大風雨>暴風雨のために大和、近江など近畿の国々の役所の建物や、神社、仏閣の建物が損壊/東大寺本堂の扉3間、力士大門など、興福寺の維摩堂、新薬師寺の七仏薬師堂や雑舎、西大寺の食堂、調寺の講堂など名だたる大建築が損壊
- 962年12月19日-08:00|中国| ||荆南・建隆3年11月20日|<死去>荆南第4代皇帝「高保勗」病没
- 962年12月19日-08:00|中国| ||荆南・建隆3年11月20日|<即位>荆南第5代皇帝「高繼沖」 (~963年領地を宋朝に納めたことにより荆南は滅亡)
- 963年-07:00|ベトナム| |||ベトナムで12使君分裂割拠時代が始まる
- 963年-05:30|インド| |||ラ=シュトラク=朝が北インドへ侵入しハ=ラマ=朝ハルシャ=シーヤ王を破る
- 963年-03:00|イェメン| |||<即位>ユフリス王「Abdallah bin Qahtan」 (~997年)
- 963年-02:00|ギリシャ| |||<設立>アトスにグ=レート=ロー(ラウ)修道院
- 963年-01:00|フランス| |||<死去>グ=エルダン伯「Raoul」
- 963年-01:00|フランス| |||<就任>グ=エルダン伯「ゴ=ットフリート1世」Gotheloの息子 (~1002年死去)
- 963年-01:00|イタリヤ| |||<即位>イタリヤ王ベ=レ=ンガ=ロー2世,ア=タル=ベルト2世が神聖ローマ皇帝オット=1世に追放される(イタリヤ王國は神聖ローマ帝国の一部となった)
- 963年-01:00|ルウェー| |||<即位>グ=イケン王「Harald Gudrodsson "Graenske"」 (~995年)

1000迄 (1173件)

- 963年-01:00|ノルウェー| |||<即位>ハーストホルム王「Harald Gudrodsson “Graenske”」(~995年)
- 963年1月28日-08:00|中国| ||北宋・建隆4年|楚が北宋に併合された
- 963年1月28日-08:00|中国| ||北宋・建隆4年|宋で「宋刑統」(律文注釈書)が完成
- 963年2月27日-08:00|中国| ||荆南・建隆4年2月|<退位>荆南第5代皇帝「高繼沖」領地を宋朝に納めたことにより荆南は滅亡
- 963年3月15日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「ロマヌス2世」
- 963年3月15日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「ニケフォロス2世」カッパドキアの軍事貴族であるフォカス家の生まれ/ロマヌス2世の没後、2人の息子が幼かったため国の実権をめぐって宦官セオドワリクスと争うが首都での市街戦を制して市民の歓呼に迎えられて入城。その後、ロマヌスの皇后テオファノと結婚し正統皇室の子供達の義父という立場で皇帝として即位(~09691210死去)
- 963年3月31日-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<死去>サッファール朝第7代アミール「アフマド・イブン・ムハンマド」
- 963年3月31日-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<即位>サッファール朝第8代アミール「ハラフ2世」(~1002年降伏)
- 963年4月3日-01:00|フランス| |||<死去>アキテーヌ公・オーベールニュ伯「キヨム3世」兼ホウティエ伯「キヨム1世」
- 963年4月3日-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「キヨム4世」兼ホウティエ伯「キヨム2世」(~09940203死去)
- 963年4月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>ウァイマル伯「ウァイルヘルム1世」
- 963年4月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>ウァイマル伯「ウァイルヘルム2世(大ウァイルヘルム)」(~10031224死去)
- 963年4月17日-01:00|フランス| |||<死去>アルデンス伯「ギゼルベルト」
- 963年4月17日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>アルデンス伯「ジークフリート」(~09981028没)
- 963年4月26日-08:00|中国| ||宋・建隆4年4月|建隆応天曆が施行される
- 963年4月26日-08:00|中国| ||宋・建隆4年4月|宋が中央集権的の地方官制を整備
- 963年9月-04:30|アフガニスタン| |||<死去>カズナ朝君主「アルテギーン」
- 963年9月-04:30|アフガニスタン| |||<即位>カズナ朝君主「イブラヒム」(~09661100死去)
- 963年11月19日-08:00|中国| ||宋・乾徳1年11月|北宋・太祖趙匡胤が乾徳(-968年)と改元
- 963年12月4日-01:00|ドイツ| |||トイ皇帝オットー1世が教会会議の結果として教皇ヨハネス12世を退位させる
- 963年12月6日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「レオ8世」(~09640226退位)
- 963年12月19日-09:00|朝鮮| ||高麗・乾徳1年12月|高麗、宋年号(乾徳1年)を施行
- 964年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダナ王国マラジャ「Prabu Munding Ganawirya」(~973年)
- 964年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Udaya3世」(~972年)
- 964年-03:00|イラン| |||<即位>ハバント朝太守「Rustam2世」(~979年死去)
- 964年-03:30|イラン| |||<廃位>ハバント朝太守「Shahriyar2世」
- 964年-01:00|オランダ/フランス| |||<死去>下咄リンギア公・エー伯「ゴトフロワ1世」
- 964年-01:00|オランダ/フランス| |||<即位>下咄リンギア公・エー伯「リシエ・ド・モン」(~973年死去)
- 964年2月16日-08:00|中国| ||後蜀・広政27年|後蜀が北宋の来攻を受ける
- 964年2月16日-08:00|中国| ||南唐・乾徳2年|南唐で鉄銭を鑄造しはじめた
- 964年2月26日-01:00|バチカン| |||<退位>対立ローマ教皇「レオ8世」
- 964年3月27日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯「アルヌール1世(大伯)」
- 964年3月27日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「アルヌール2世」ボードゥアン3世の息子(~9870330死去)
- 964年4月29日-09:00|日本| ||応和4年3月15日|大学寮学生・天台僧、勸学会を始める
- 964年5月14日-01:00|バチカン| |||<死去>第130代ローマ教皇「ヨハネス12世」
- 964年5月22日-01:00|バチカン| |||<就任>第131代ローマ教皇「ベネディクトゥス5世」(~09640623退位)
- 964年6月11日-09:00|日本| ||応和4年4月29日|<死去>藤原安子(生年927年、村上天皇の中宮)
- 964年6月23日-01:00|バチカン| |||<就任>第132代ローマ教皇「レオ8世」(~09650301死去)
- 964年6月23日-01:00|バチカン| |||<退位>第131代ローマ教皇「ベネディクトゥス5世」
- 964年8月19日-09:00|日本| ||康保1年7月10日|康保に改元
- 965年-07:00|ベトナム| |||<死去>呉朝国王「呉昌文(南晋王)」滅亡
- 965年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「ハラム・シュヴァラヴァルマン1世」(~982年)
- 965年-05:30|インド| |||この頃シャヒー朝ジャヤバラ即位(~1001)
- 965年-04:00|ロシア/ウクライナ| |||キエフ公国スヴァトスラフがハザールに遠征しヴォルガ河口のティムクトン下流域のサルケルという主要都市を破壊
- 965年-03:30|イラン| |||<即位>ハタスパニト朝君主「Istwandad」(~不明)⇒「Hazarasp1世」(~1117年)
- 965年-01:00|ドイツ| |||<就任>オストマルク辺境伯「ホルト1世(オト1世)」(~9930313死去)ゲロの甥
- 965年-01:00|フランス| |||<就任>オットーエル伯「Otto-Henry」ブルゴニユ公(~987年~10021015死去)
- 965年-01:00|ドイツ| |||<就任>ノルトマルク辺境伯「ティートリヒ(ティアドリヒ)」(~983年)
- 965年-01:00|ドイツ| |||<就任>マイセン辺境伯「ウァイクハルト」(~976年)
- 965年-01:00|フランス| |||<昇格>下ロレーヌ辺境伯「ゴトフロワ1世」⇒下ロレーヌ公(~964年);上ロレーヌ辺境伯「フレデリック1世」⇒上ロレーヌ公(~978年)
- 965年-01:00|オーストリア/ドイツ| |||オストマルク辺境伯の死でマルクが三分されノルトマルク(後のフランケン)ノルトマルク(後のフランケン)ノルトマルク(後のフランケン)ノルトマルク(後のフランケン)、オストマルクが成立
- 965年2月22日-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニユ公「アンリ1世(偉大公)」(~10021016)
- 965年2月23日-08:00|中国| ||北宋・乾徳3年;後蜀・広政28年1月20日|<退位>後蜀第2代皇帝「後主(孟昶)」宋に降伏し後蜀は滅亡
- 965年3月1日-01:00|バチカン| |||<死去>第132代ローマ教皇「レオ8世」

1000迄 (1173件)

965年4月20日-09:00|日本|滋賀県大津市|康保2年3月20日|近江国崇福寺焼亡
965年5月4日-09:00|日本| ||康保2年4月|<任命>鎮守府将軍「源信孝」(~不詳)
965年6月25日-01:00|イタリヤ| ||<死去>イヴレーア辺境伯「ゲイト・デ・イヴレーア」(生年生年未詳)
965年10月1日-01:00|バチカン| ||<就任>第133代ローマ教皇「ヨハネ13世」(~09720906死去)
966年-07:00|ベトナム| ||<即位>呉朝国王「呉昌熾」呉昌焄の子(~968年滅亡)
966年-04:00|ロシア| ||スヴァトスラフは再びウヤリ族を攻め、彼らをキエフへの貢納圏内につなぎ止めることに成功
966年-01:00|イタリヤ| ||<死去>アマルフィ公「セルギウス1世」
966年-01:00|アントラ| ||<死去>ウルジェイ伯「Miro de Barcelona」
966年-01:00|スペイン| ||<死去>ハルカト伯「ミロ1世」
966年-01:00|フランス| ||<死去>メコン伯「Lietald2世」
966年-01:00|スペイン| ||<死去>レオン国王「サンチヨ1世」
966年-01:00|アントラ| ||<就任>ウルジェイ伯「Borrel12世」(~9920930死去)
966年-01:00|フランス| ||<就任>メコン伯「Aubry2世」(~982年死去)
966年-01:00|イタリヤ| ||<即位>アマルフィ公「マンツ1世」(~1004年死去)
966年-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王「ラムロ3世」(~984年退位~09850626死去)
966年-01:00|ポーランド| ||ポーランドのピャスト朝が正式にローマカトリックを受容
966年1月-02:00|エジプト| ||<死去>イフシード朝第3代ワリー「アブル=ハッサン・アリ・イブン=アルイキト」
966年1月-02:00|エジプト| ||<即位>イフシード朝第4代ワリー「アブ=アル=ミスク=カフル」(~968.4死去)
966年1月25日-09:00|日本|兵庫県姫路市|康保3年|性空上人、書写山圓教寺創建
966年1月25日-08:00|中国| ||南唐・乾徳4年|<即位>ホーチン王「尉遲輸羅(李从徳)」(~977年)
966年6月21日-08:00|中国| ||宋・乾徳4年6月|宋が広州市に船司を設置
966年7月4日-01:00|バチカン| ||<死去>第132代ローマ教皇「ベネディクトゥス5世」(生年生年未詳)
966年7月6日-01:00|イタリヤ| ||<死去>元イタリヤ王、イヴレーア辺境伯「ベレンガール2世」(生年900年)
966年7月20日 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド王「カリン白王」(~971年死去)
966年10月4日-09:00|日本|京都府京都市|康保3年閏8月18日|<康保3年桂川決壊、平安京西南部大洪水>桂川が決壊し大洪水となり、平安京の西南部が海のようになった/家屋は流失/大内裏の西隣、中御門大路の北、西堀河小路の西にあった西獄(獄舎:刑務所)の塀が水の勢いで破損
966年11月-04:30|アッカニスタン| ||<死去>ガズナ朝第2代君主「イブラヒム」
966年11月12日-04:30|アッカニスタン| ||<即位>ガズナ朝第3代君主「ヒルギン・ティギン」(~975年死去)
966年12月 00:00|ポルトガル| ||<就任>コインブラ伯「Rodrigo Velasquez」(~978年死去)
966年12月12日-09:00|日本|滋賀県大津市|康保3年10月28日|延暦寺諸堂焼亡、30宇焼失
967年-07:00|ベトナム| ||丁部領、12使君の乱を鎮圧
967年-05:30|インド| ||<即位>ラシュトラクタ朝国王「コーッティガ・アモガヴァルシヤ」(~972年)
967年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>アブキッド朝シャー「Abu 'Abdallah Muhammad」(~995年死去)
967年-04:00|ジョージア| ||<即位>アブハスア王「デメトリウス3世」(~975年)
967年-04:00|オマン/イラン| ||オマンはペルシヤのフイト王朝により支配(~1053年)
967年-04:00|ロシア| ||スヴァトスラフはビザンツ皇帝ニコフォロス2世フォカスの要請に応じ、大軍を率いてバルカン侵攻/ブルガリア軍を撃破し、ほぼバルカン全土を制圧
967年-03:30|イラン| ||<死去>サリド朝(タラム)国王「Wahsudan ibn Muhammad」
967年-03:00|イラク/シリア=アラブ| ||<即位>ハムダーン朝アミール「アブ=タクルバ」(~978年)
967年-03:00|サウジアラビア| ||<即位>メッカ=シャリフ「ジャアファル=ブン=ムハンマド=アル=ハサニ」(~980年)
967年-02:00|シリア=アラブ| ||<即位>ハムダーン朝(アレクソ)アミール「サト=アッタウラ」(~991年)
967年-01:00|フランス| ||<死去>モー伯「ロベルト」兼トロワ伯「ロベルト2世」
967年-01:00|フランス| ||<就任>トロア=モー伯「Herbert3世」(~995年死去)
967年-01:00|イタリヤ| ||<即位>スペレート公「パンタール1世」(~981.3死去)
967年1月15日-09:00|日本| ||康保3年12月2日|<死去>藤原朝忠(生年910年/公卿、歌人、三十六歌仙の一人)
967年1月30日-09:00|日本| ||康保3年12月17日|<死去>式明親王、皇族(生年907年)
967年2月9日-09:00|日本| ||康保3年12月27日|<死去>小野道風(享年73、生年894年/公家、能書家)
967年2月12日-08:00|中国| ||于阗・天尊1年|<即位>ホーチン王「尉遲蘇拉」(~977年)/年号を天尊とする(~977年)
967年4月8日-03:00|イラク/イラン| ||<死去>ブワイフ朝(イラク地方=ケルマン地方)アミール「ムイッズ=ウッタウラ」
967年4月8日-03:00|イラク/イラン| ||<即位>ブワイフ朝(イラク地方=ケルマン地方)アミール「ムイッズ=ウッタウラ」ムイッズ=ウッタウラの子(~978年死去)
967年4月14日-09:00|日本| ||康保4年3月2日|<死去>敦実親王、皇族(生年893年)
967年7月5日-09:00|日本| ||康保4年5月25日|<死去>「第62代村上天皇」
967年7月5日-09:00|日本| ||康保4年5月25日|<踐祚>「63代冷泉天皇」10月11日即位(~09690813)
967年7月31日-09:00|日本| ||康保4年6月22日|<就任>関白:藤原実頼
967年8月17日-09:00|日本| ||康保4年7月9日|<施行>律令政治の基本細則「延喜式」(醍醐天皇の命で藤原時平らが編纂した格式)
967年12月-03:30|イラン| ||<死去>ズィヤール朝第2代国王「ワシュムキール=ブン=ズィヤール」
967年12月-03:30|イラン| ||<即位>ズィヤール朝第3代国王「ヒフストゥーン=ブン=ワシュムキール」(~977年死去)
968年-07:00|ベトナム| ||<即位>丁朝皇帝「先皇帝(丁部領)」ベトナムを統一、大瞿越を建国(~太平10年10月(979年)死去)

1000迄 (1173件)

- 968年-07:00|カホヅア| |||<即位>ケメル王朝国王「ジヤウアルマン5世(フェイスアルマン5世)」(~1001年死去)
- 968年-07:00|ベトナム| |||<退位>呉朝国王「呉昌熾」呉朝滅亡
- 968年-04:00|ロシア| |||ハザールに代わって新しく南ロシア平原で台頭してきた遊牧民「フェグ」がルーシを襲い、キエフの街を包囲するに及んでスヴァトスラフは帰国を余儀なくされた
- 968年-01:00|フランス/スペイン| |||<死去>コンラン伯・サルダニャ伯「Sunifred2世」
- 968年-01:00|イタリア| |||<死去>パトリ公「ジヨ3世」
- 968年-01:00|スペイン| |||<死去>パトリ伯「Sunifred」
- 968年-01:00|フランス/スペイン| |||<就任>コンラン伯・サルダニャ伯「Miro3世」(~984年死去), 「Oliba3世Cabreta」(~988年)
- 968年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス伯「ギヨム1世」アル伯ボソ2世の子(~9930829以降死去), 「Rotbold1世」Boson 2世の息子(~1008年死去)
- 968年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス辺境伯「ルボ2世」アル伯ボソ2世の子(~1008年)
- 968年-01:00|スペイン| |||<就任>パトリ伯「Miro2世Bonfilii」(~984年死去)
- 968年-01:00|イタリア| |||<即位>パトリ公「マリヌ2世」(~992年死去)
- 968年-01:00|ドイツ| |||マゲブルグに東方布教の中心として大司教座が置かれる
- 968年2月2日-09:00|日本|京都府京都市北区|康保5年|この年上賀茂社を造営
- 968年2月2日-08:00|中国| ||大理・順徳1年|大理国・段思聡が順徳と改元
- 968年4月-02:00|エジプト| |||<死去>イフシド朝第4代ワリー「アブル=アル=ミスク=カフル」
- 968年4月-02:00|エジプト| |||<即位>イフシド朝第5代ワリー「アブル=ファリス=アマト=イブン=アリー」(~969. 6, ファティマ朝の将軍ジャウハルが大軍とともに到来すると、全エジプトは国をあげてほとんど抵抗することなく降伏し、イフシド朝は滅んだ)
- 968年8月11日-09:00|日本|奈良県奈良市|康保5年7月15日|東大寺と興福寺が乱闘
- 968年8月23日-08:00|中国| ||北漢・天会12年7月27日|<死去>北漢第2代皇帝「睿宗孝和帝(劉鈞)」病死
- 968年8月23日-08:00|中国| ||北漢・天会12年7月27日|<即位>北漢第3代皇帝「少帝(劉繼恩)」(~968年10月)
- 968年9月8日-09:00|日本| ||安和1年8月13日|康保から安和に改元
- 968年9月25日-08:00|中国| ||北漢・天会12年9月|<死去>北漢第3代皇帝「少帝(劉繼恩)」侯霸榮に殺害される
- 968年9月25日-08:00|中国| ||北漢・天会12年9月|<即位>北漢第4代皇帝「英武帝(劉繼元)」(~979年)
- 968年10月25日-08:00|中国| ||宋・乾徳6年;北漢・天会12年10月1日|宋、太原(北漢)を囲む/遼、北漢を救う
- 968年11月23日-08:00|中国| ||宋・開宝1年11月|北宋・太祖趙匡胤が開宝(-976年)と改元
- 968年12月-01:00|イタリア| |||<死去>カプア公「ラントルフ5世the Bold」兼パトリ公「ラントルフ3世」
- 968年12月-01:00|イタリア| |||<就任>カプア公兼パトリ公「ラントルフ4世」共同統治(~9820713死去)
- 969年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカソ国王「ミン=ギ=ビユ」(~984年)
- 969年-04:00|ロシア| |||<即位>ノゴロト公「ウラジ=ミル=スウヤトスラフ」(~977年)
- 969年-02:00|ウクライナ| |||<即位>トレビリャネ公「オレグ=スウヤトスラフ」(~977年死去)
- 969年-02:00|ブルガリア/ロシア| |||キエフ公国がブルガリア王を破り、第一次ブルガリア王国が終焉
- 969年-01:00|クロアチア| |||<死去>クロアチア王「ミヒャエル=クルシミル2世」
- 969年-01:00|イタリア| |||<死去>トスカーナ辺境伯「ウベルト」
- 969年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア=ハンコ「コデミル」(~995年)
- 969年-01:00|イタリア| |||<就任>トスカーナ辺境伯「ウゴ」ウベルトの子(~10011221死去)
- 969年-01:00|フランス| |||<就任>ボワリエ伯「ギヨム3世」ギヨム2世の息子(~10300131死去)
- 969年-01:00|イタリア| |||<即位>カピツ君主「Ya' ish」(~970年)
- 969年-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア王「ステファン=トルジスラフ」(~997年、死去)
- 969年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「ヤマ=タンカ=キバオ」(~981年)
- 969年-01:00|セルビア/トルコ| |||セルビアはビザンチン帝国に併合(~976年)
- 969年1月21日-08:00|中国| ||大理・明政1年|<死去>前大理第4代皇帝「広慈帝(段思聡)」
- 969年1月21日-08:00|中国| ||大理・明政1年|<即位>前大理第5代皇帝「応道帝(段素順)」(~986年)明政(-985年)と改元
- 969年3月12日-08:00|中国| ||遼・應暦19年2月22日|<死去>遼可汗「穆宗(耶律述律)」殺される/年39
- 969年3月13日-08:00|中国| ||遼・保寧1年2月23日|<即位>遼可汗「景宗耶律賢」(~乾亨4年9月24日(982年10月13日)保寧(-979年)と改元
- 969年4月14日-09:00|日本|長崎県壱岐市|安和2年3月25日|前相模介藤原千春、その男久頼、および隋兵等は安和の変に絡み検非違使源満季(満仲男)により検挙禁獄され千春は遠流の刑で壱岐國へ
- 969年4月15日-09:00|日本| ||安和2年3月26日|左大臣源高明が安和の変に荷担していたとして捕らえられる
- 969年4月20日-09:00|日本|京都府京都市|安和2年4月1日|源高明の西宮第焼亡
- 969年6月-02:00|エジプト| |||<退位>イフシド朝第5代ワリー「アブル=ファリス=アマト=イブン=アリー」ファティマ朝の将軍ジャウハルが大軍とともに到来すると、全エジプトは国をあげてほとんど抵抗することなく降伏し、イフシド朝は滅んだ
- 969年7月11日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公国摂政「オリガ」
- 969年7月11日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<即位>キエフ大公「ヤホルフ1世」(~09780611死去)
- 969年9月-02:00|ブルガリア| |||<即位>ブルガリア帝国皇帝「ボリス2世」(⇒971年、ビザンチンの囚人~977年、死去)
- 969年9月-02:00|ブルガリア| |||<退位>ブルガリア帝国皇帝「ビョートル1世」(~09700130死去)
- 969年9月27日-09:00|日本| ||安和2年8月13日|<就任>摂政:藤原実頼(~天禄元年5月18日在官中に薨御)
- 969年9月27日-09:00|日本| ||安和2年8月13日|<退位>第63代「冷泉天皇」、守平親王が踐祚
- 969年10月24日-09:00|日本| ||安和2年9月11日|<死去>婉子内親王(生年904年/皇族、賀茂斎院)

1000迄 (1173件)

- 969年11月5日-09:00|日本| ||安和2年9月23日|<即位>第64代「円融天皇」守平親王(~09840827)
- 969年12月10日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「ニコフォロス2世」ヨハネス1世ツィミスキスのクーデターによって暗殺される/56歳(誕生913年)
- 969年12月11日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝「ヨハネス1世ツィミスキス」(~09760110死去)
- 969年12月19日-09:00|日本|新潟県|安和2年11月8日|平貞時を越後国に流す
- 970年-05:30|インド| ||<即位>東チャルキヤ朝君主「Danarava」(~973年)
- 970年-05:30|インド| ||<即位>チョーラ朝国王「Uttama Chola」(~985年死去)
- 970年-05:00|キルギス/ウスベキスタン/中国| ||<即位>カラハン朝ハン「アリー・アルスラン・ハン」ムサーの子(~998年)
- 970年-03:00|パルレーン| ||<即位>カマティヤ君主「Abul Kassim Sa'id」(~972年)
- 970年-01:00|スペイン| ||<死去>カステイリャ伯「Fernan Gonzalez」
- 970年-01:00|ルウェー| ||<死去>ルウェー王「ハラル2世灰衣王」
- 970年-01:00|スペイン| ||<就任>カステイリャ伯「Garcia Fernandez」(~995年死去)
- 970年-01:00|イタリヤ| ||<就任>マントヴァ伯「Adalbert Atto」(~09880213死去)
- 970年-01:00|スペイン| ||<就任>リパゴルサ伯「Hunfred2世」Raymond2世の息子(~979年)
- 970年-01:00|スウェーデン| ||<即位>スウェーデン王国国王「エリク6世(勝利)」(~995年死去)
- 970年-01:00|ルウェー/デンマーク| ||<即位>ルウェー王「ホコン・シグトルソン」デンマーク総督(~995年没)
- 970年-01:00|デンマーク/ルウェー| ||デンマークがルウェーを支配(~995年)
- 970年 00:00|イタリヤ| ||<即位>グウェント王「Arthfael ap Nowy」(~983年)
- 970年2月9日-08:00|中国| ||宋・開寶3年|钱塘江の逆流を鎮めることを願い智覚禅師によって六和塔完成(中国杭州市)
- 970年2月9日-07:00|ベトナム| ||大瞿越・太平1年|大瞿越・丁部領が太平と改元(-980年)
- 970年2月22日-01:00|スペイン| ||<死去>ナバラ王・パンフロナ王「ガルスア・サンチェス1世」51歳
- 970年2月22日-01:00|スペイン| ||<即位>ナバラ王・パンフロナ王「サンチョ・ガルス2世」ガルスア・サンチェス1世とアント・レゴタ・ガリンダスの男子(~994.12死去)
- 970年2月23日-09:00|日本| ||安和3年1月15日|<任命>鎮守府将軍「藤原千常」(~不詳)
- 970年5月3日-09:00|日本| ||天禄1年3月25日|安和から天禄に改元
- 970年5月9日-09:00|日本|京都府京都市|天禄1年4月2日|冷泉院が焼亡
- 970年6月10日 00:00|アイスランド| ||<就任>アイスランド連邦共和国政府(アルシング)法話者「トルクル・モ・ソーシュタインソン」(~982年)
- 970年6月23日-01:00|イタリヤ| ||<即位>カビッツ君主「Abu'l-Qasim Ali ibn al-Hasan al-Kalbi」(~9820713死去)
- 970年6月26日-09:00|日本| ||天禄1年5月20日|<就任>摂政:藤原伊尹(~天禄3年10月23日)太政大臣
- 970年7月19日-09:00|日本|京都府京都市|天禄1年6月14日|初めて官祭として「祇園祭」実施.以降毎年行われるようになる
- 970年10月10日-09:00|日本|奈良県吉野郡吉野町|天禄1年9月8日|金峯山寺焼亡
- 971年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| ||<即位>シャッタート朝国王「アリ1世・ビン・ムハマド・ラシュカリ」(~978年)
- 971年-04:00|ロシア| ||スヴャトスラフは二度目のバルカン遠征/再度ブルガリア軍を破って南進/帝国領トキアに乱入し、フィリッポポリスを陥落させたがゾネスに追われ、ブルガリア北部にまで撤退
- 971年-02:00|ルーマニア/トルコ| ||トブルジャは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部(~1187年)
- 971年-01:00|フランス| ||<就任>オセル伯「Heribert」(~996年)
- 971年-01:00|ハンガリー| ||<即位>ハンガリー大公「ゲザ」クリニャ・フィア・ソルトの息子(~09970201死去)
- 971年 00:00|イタリヤ| ||<死去>スコットランド王「カリン白王」
- 971年 00:00|イタリヤ| ||<即位>スコットランド王「ケネス2世兄弟殺し王」マルカム1世の息子(~995年死去)
- 971年1月30日-08:00|中国| ||宋・開宝4年:南漢・大宝14年|<廃位>南漢第4代皇帝「後主(劉鋹)」宋の太祖(趙匡胤)が侵攻、宋軍の捕虜となり南漢は領土を宋に併呑されて南漢は滅亡
- 971年7月-02:00|ブルガリア| ||<就任>ブルガリア帝国摂政「ダビデ」「モイセイ」「アロン」「サムイル」(~977年)
- 971年7月-02:00|ブルガリア/トルコ| ||ビザンチン帝国ヨハネス1世がブルガリアを併合(~976年)
- 971年10月1日-09:00|日本| ||天禄2年9月10日|<死去>広平親王、皇族(生年950年)
- 972年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプura王国国王「Sena4世」Kassapa5世の息子(~975年)
- 972年-05:30|インド| ||<即位>パラマラ朝国王「Vakpati2世」Siyaka2世の息子(~990年)
- 972年-05:30|インド| ||<即位>ラシュトラクータ朝国王「カルカ2世」(~973年)
- 972年-05:30|インド| ||パラマラ朝がラシュトラクータ朝の首都を占領
- 972年-04:00|アルメニア| ||<即位>ウァスプラカン王「アショト・サハク(アショト4世)」(~983年)
- 972年-04:00|アルメニア| ||<即位>叫王「ケルゲン1世」建国(~989年)
- 972年-03:30|イラン| ||<即位>ジャスタニス朝国王「Khusrau Shah」(~1004年死去)
- 972年-03:00|パルレーン| ||<即位>カマティヤ君主「Abu Yaqub Yousuf」(~977年)
- 972年-02:00|ギリシャ| ||<設立>アトスにウァトペテ修道院
- 972年-02:00|エジプト| ||カイロにアスハル・モスクが建設
- 972年-01:00|フランス| ||<就任>トゥールーズ伯「レイモンド5世」(~978年)
- 972年-01:00|チェンジア/アルジェリア/リビア| ||<即位>スィール朝アミール「ブルギーン・イブン・スィーリ」建国(~984年死去)
- 972年3月26日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<死去>キエフ大公「スヴャトスラフ1世」トニエールの有名な難所「早瀬」を通ったとき、ハチェグ人たちに討ち取られる
- 972年7月15日-01:00|チェコ| ||<死去>ホヘミア公「ボレスラフ1世」

1000迄 (1173件)

- 972年7月15日-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア公「ボリスラフ2世」(~9990207死去)
- 972年9月6日-01:00|バチカン| |||<死去>第133代ローマ教皇「ヨハネス13世」
- 972年10月20日-09:00|日本| ||天禄3年9月11日|<死去>空也(70歳、延喜3(903)年生)浄土宗の始祖
- 972年12月27日-09:00|日本| ||天禄3年11月27日|<就任>関白「藤原兼通」
- 973年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダ王国マハラジャ「Prabu Jayagiri Rakeyan Wulung Gadung」(~989年)
- 973年-05:30|インド| |||<即位>後期チャールヤ朝国王「タイラ2世」(~997年)
- 973年-05:30|インド| |||<即位>東チャールヤ朝君主「Jata Choda Bhima」(~999年)
- 973年-05:30|インド| |||<即位>ラシュトラクータ朝国王「イントラ4世」(~982年死去)
- 973年-01:00|フランス/オランダ| |||<死去>下ロリンギア公・エノー伯「リシエ・ド・モンズ」
- 973年-01:00|オランダ| |||<就任>エノー伯「ルノー」(~同年死去)⇒「レニエ4世」(~974年)
- 973年-01:00|イタリア| |||<就任>サルノ公「ランダルフ」⇒<復位>「ギサル1世」(~977.11死去)
- 973年-01:00|チェコ| |||プロハ司教座が創設される
- 973年 00:00|イギリス| |||<即位>ストラスカイト王「Mael Coluim」(~997年死去)
- 973年 00:00|イギリス| |||スコットランドにローテアンが組み込まれる
- 973年1月4日-09:00|日本| ||天禄3年11月27日|<就任>関白:藤原兼通(~貞元2年10月11日)太政大臣
- 973年1月19日-01:00|バチカン| |||<就任>第134代ローマ教皇「ベネディクトゥス6世」(~09740608死去)
- 973年3月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン辺境伯「ヘルマン・ヒルング」
- 973年3月27日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「ベルンハルト1世」(~10110209死去)
- 973年4月3日-09:00|日本| 奈良県奈良市|天禄4年2月27日|大和薬師寺焼亡
- 973年4月18日-09:00|日本| 京都府京都市|天禄4年3月13日|北野社の御在所・礼殿焼亡
- 973年5月7日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/チェコ| |||<死去>フランク・ローマ帝国皇帝・イタリア王「オットー1世大帝」60歳(誕生09121123)
- 973年5月9日-01:00|ドイツ/オーストリア/チェコ/イタリア| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝・イタリア王「オットー2世赤帝」(ドイツ王~09831207死去)
- 973年5月28日-09:00|日本| 京都府京都市|天禄4年4月23日|強盗、源満仲宅を囲み放火し、300余戸焼亡
- 973年6月-02:00|エジプト| |||ファティマ朝がカイロに遷都
- 973年11月12日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「フールヒャルト3世」
- 973年11月12日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「オットー1世」リウドルフの子(~9821031死去)
- 974年-01:00|オランダ| |||<就任>エノー伯「ゴドフロワ2世」ウエルダン伯ゴットフリート1世(~998年)
- 974年 00:00|イギリス| |||<即位>ゲリウイック王「オウエイン・アブ・モガン」(~983年)
- 974年 00:00|モロッコ| |||<退位>モロッコ国王「アル=ハサン・イブン・アル=カサイム・ガヌーン(ハサン2世)」イトリス朝が滅亡
- 974年 00:00|モロッコ/エジプト| |||モロッコはファティマ朝の一部(~987年)
- 974年1月16日-09:00|日本| ||天延1年12月20日|天禄から天延に改元
- 974年1月26日-08:00|中国| ||宋・開寶7年;南唐・開寶7年|宋は南唐・李煜の来朝を要請したがこれを拒否したため、侵攻
- 974年1月26日-08:00|中国| ||北漢・広運1年|北漢において劉継元が広運(-979年)と改元
- 974年1月26日-08:00|中国| ||遼・保寧6年1月|遼、後晋に侵入
- 974年2月23日-09:00|日本| ||天延2年1月29日|<任命>鎮守府将軍「藤原季文」(~不詳)
- 974年4月25日-08:00|中国| ||遼・保寧6年4月|遼で喜隱、謀反に座す
- 974年6月8日-01:00|バチカン| |||<死去>第134代ローマ教皇「ベネディクトゥス6世」
- 974年7月-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「ボニファティウス7世」(~同月退位)
- 974年8月4日-03:00|イラク| |||<即位>バグダット・アッバース朝第24代カリフ「タィー」(~09911030退位~10030803死去)
- 974年8月4日-03:00|イラク| |||<退位>バグダット・アッバース朝第23代カリフ「ムティー」中風となって舌がもつれて言うことが分からなくなりバフティヤールに退位を勧告され従った(~0974.9死去)
- 974年10月-01:00|バチカン| |||<就任>第135代ローマ教皇「ベネディクトゥス7世」(~09830710死去)
- 974年10月4日-09:00|日本| ||天延2年9月16日|<死去>藤原義孝(生年954年/公家、歌人、中古三十六歌仙の一人)
- 974年12月3日-09:00|日本| ||天延2年間10月17日|<死去>隆子女王(生年生年未詳/皇族、伊勢斎宮)
- 975年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプラ王国国王「Mahinda4世」Sena4世の兄弟/Udaya3世の甥(~991年)
- 975年-04:30|アフガニスタン| |||<死去>ガズナ朝第3代君主「ヒルグ・テイーン」
- 975年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>ガズナ朝第4代君主「ボリテイーン」(~09770420死去)
- 975年-04:00|ジョージア| |||<即位>アブハジア王「テオドシウス3世」(~978年)
- 975年-03:00|イラク| |||バグダットでサフクテイーンがトルコ部隊を率いて反乱
- 975年-01:00|イタリア| |||<解任>ウエーナ辺境伯「ハインリヒ2世(喧嘩公)」
- 975年-01:00|フランス| |||<死去>シャルトル伯・ブワ伯「Theobald1世」トゥール伯
- 975年-01:00|フランス| |||<就任>シャトダン伯「Theobald the Trickster」(~同年死去)⇒「ウード1世」(~9960312死去)
- 975年-01:00|フランス| |||<就任>シャルトル伯「ウード1世」(~995年退任)兼ブワ伯(~9960312死去)トゥール伯
- 975年2月14日-08:00|中国| ||宋・開寶8年|宋の太祖が初めて殿試を実施、26人を選抜
- 975年7月4日-09:00|朝鮮| ||高麗・開寶8年5月23日|<即位>高麗王「景宗」(~09810811病死)
- 975年7月8日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス王「エドガ-平和王」約32歳
- 975年7月8日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「エドワード 殉教王」エドガ-とエゼルラットの男子(~09780318暗殺される)
- 975年8月2日-09:00|日本| ||天延3年6月22日|暁、彗星良方に現る。その形団扇の如し。長さ5、6尺

1000迄 (1173件)

975年8月10日-09:00|日本| ||天延3年7月1日|日蝕あり。天は黒色の如し
975年12月6日-09:00|日本|京都府京都市|天延3年11月|朔平門・右衛門陣屋放火される
975年12月19日-01:00|チュニジア/エジプト| ||<死去>ファーティマ朝第4代カリフ「アル=ムイッス・リ=テ=イナ=」
975年12月19日-01:00|チュニジア/エジプト| ||<即位>ファーティマ朝第5代カリフ「アル=アジズ・ビ=ラ=」(~9961014死去)
976年-05:30|インド| ||<即位>パ=ラ朝国王「ウ=イク=ラハ=ラ2世」(~977年)
976年-04:30|アフリカ| ||<即位>ブ=ワフ朝(ライ政権)アミール「ファフル=ウッタ=ウラ」(~980年)
976年-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマーム「アルマンサー=ヤヤ」
976年-02:00|ギリシャ| ||<設立>アトスにイウ=エオン修道院
976年-01:00|イタリア| ||<就任>ウ=ネツィア共和国第23代ト=ジ=エ(元首)「ヒ=エトロ=カセオ1世」(~978年)
976年-01:00|イタリア| ||<就任>ウ=エロ=ナ辺境伯「Henry3世 the Younger」(~978年廃位)
976年-01:00|オーストリア| ||<就任>オーストリア辺境伯「レホ=ルト1世」(~9940710死去54歳)
976年-01:00|ドイツ| ||<就任>マイェン辺境伯「ティートマル1世」メル=ブルク辺境伯(~9790803死去)
976年-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<即位>ハ=イェルン大公「オット=1世」シュウ=アー=ベン大公(~9821031死去)
976年-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<廃位>ハ=イェルン大公「ハインリヒ2世(喧嘩公)」従兄のローマ皇帝オット=2世と争い、公国を召し上げられ、ハ=イェルン大公領から東部がオーストリア辺境伯領として分離
976年1月1日-08:00|中国| ||宋・開寶8年11月27日|<廃位>南唐3代皇帝「後主(李煜)」金陵が陥落し北方に連行された
976年1月10日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝「ヨハネス1世ツィミスケス」
976年1月10日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「バシレイオス2世ブルガ=ロトノス(ブルガリア人殺し)」ロマノ2世とテオファノの長男/ニコフォロス2世フォカス、ヨハネス1世ツィミスケスの下で、単なる飾り物の共同皇帝としての幼少年期を過ごしヨハネス1世の死により、正帝として即位(~10251225死去)
976年2月3日-08:00|中国| ||宋・開寶9年|<即位>定安王「烏玄明(元興)」(~986年)
976年3月4日-09:00|朝鮮| ||高麗・開寶9年2月|高麗、文武両班の墓制を定める
976年6月11日-09:00|日本|京都府京都市|天延4年5月11日|<内裏焼く>子の刻(午前0時ごろ)仁寿殿の西面から出火、天皇の御座所である清涼殿の東隣にあたり、その西面というと御座所に最も近い場所であったので、時の円融天皇はいったん内裏北側の玄輝門から出られ、近くの桂芳坊(雅楽司所)、さらに内裏外郭外の職曹司に避難
976年6月13日-05:00|ウズベキスタン/イラン| ||<死去>サマーン朝第7代アミール「マンスール1世」
976年6月13日-05:00|ウズベキスタン/イラン| ||<即位>サマーン朝第8代アミール「ヌ=フ2世」(~09970723死去)
976年7月-01:00|オーストリア/スロベニア| ||<即位>ケルテン公国(ハ=イェルン公国から分割)「ハインリヒ1世」(~978年廃位)
976年7月17日 07:00|日本| ||天延4年6月18日|<山城・近江で地震>申の刻(16時ごろ)、マク=ニフ=トド6.7と推定される地震/京都では大内裏の諸官庁や市内の建物の倒潰が多く、東寺、西寺、極楽寺、清水寺、円覚寺などの大寺院の堂塔が倒潰、内裏修理中の30余人死亡/清水寺では50人以上が死亡/近江国では国分寺の大門が倒潰し仁王像が破損、国府庁では耐震性の低い雑屋が30余棟倒潰
976年8月11日-09:00|日本| ||貞元1年7月13日|天延から貞元に改元
976年9月-04:30|アフリカ| ||<死去>ブ=ワフ朝(シハ=ル地方)アミール「ルクン=ウッタ=ウラ」
976年9月-04:30|アフリカ| ||<即位>ブ=ワフ朝(ハマダ=ン政権)アミール「ム=アヤト=ウッタ=ウラ」(~983年死去)
976年10月16日-01:00|スペイン| ||<死去>後ウマイヤ朝第2代カリフ「ハカム2世」
976年10月16日-01:00|スペイン| ||<即位>後ウマイヤ朝第3代カリフ「ヒシャ=ム2世」(~1009年)
976年11月14日-08:00|中国| ||宋・開寶9年10月20日|<死去>北宋初代皇帝「太祖(趙匡胤)」50歳
976年11月15日-08:00|中国| ||宋・開寶9年10月21日|<即位>北宋第2代皇帝「太宗」(~至道3年3月29日(997年5月8日)死去)
976年11月24日-09:00|朝鮮| ||高麗・開寶9年11月|高麗、田柴科制度を定める
976年12月24日-08:00|中国| ||宋・太平興國1年12月|宋の太宗趙炅が太平興國(-984年)と改元
977年-05:30|インド| ||<即位>パ=ラ朝国王「マヒ=パ=ラ1世」(~1027年)
977年-04:30|アフリカ| ||<死去>ガズナ朝君主「ホ=リヤギ=ン」
977年-04:30|アフリカ| ||<即位>ブ=ワフ朝(ライ政権)アミール「ム=アヤト=ウッタ=ウラ」(~983年死去)
977年-04:00|アルメニア| ||<死去>ハ=グ=ラトゥ=ニ朝アルメニア王「アショット3世」
977年-04:00|ロシア| ||<即位>ノヴゴロト公「ヤロ=ルク=ス=ヤトスラ=ヴィチ」(~979年)
977年-04:00|アルメニア| ||<即位>ハ=グ=ラトゥ=ニ朝アルメニア王「ス=ムハ=ト2世」(~989年、死去)
977年-04:00|ロシア| ||ヤロ=ルクの兵団はド=レガ=リヤ=ネの地に侵攻し、オレグの軍勢を打ち負かし、オレグは味方の人馬の下敷きになって悲惨な最期
977年-03:30|イラン| ||<死去>ス=イヤール朝第3代国王「ヒ=フストウ=ン=フ=ン=ワシムキ=ール」
977年-03:00|イェメン| ||<即位>ラッシー朝イマーム「アッタ=イ=ユ=サフ」アルマンサー=ヤヤの息子(~999年退位)
977年-02:00|ウクライナ| ||<死去>ド=レガ=リヤ=ネ公「オレグ=ス=ヤトスラ=ヴィチ」
977年-02:00|ブルガリア| ||<死去>ブルガリア帝国皇帝「ホ=リス2世」
977年-02:00|ブルガリア| ||<即位>ブルガリア帝国皇帝「ロ=マン」(⇒991年、ヒ=ザンチンの囚人~997年)
977年-01:00|フランス| ||<就任>モルテン伯「Mauger of Corbeil」(~1032年)
977年-01:00|フランス| ||<即位>下ロタリンギア公「シャルル1世」西フランク王ルイ4世の子(~993年死去)
977年-01:00|リビア/アルジェリア| ||トリホ=リタニアはジリト=王国の一部
977年1月22日-08:00|中国| ||宋・太平興國2年|<即位>ホ=タン王「尉遲達磨」(~985年)
977年1月22日-08:00|中国| ||呉越・太平興國2年|呉越国の王・銭弘俶の黄妃に子供が生まれたことを祝い雷峰塔完成(中国杭州市)

1000迄 (1173件)

977年3月14日-09:00|日本| ||貞元2年2月22日|<死去>賀茂保憲(生年917年/陰陽師、陰陽家)
977年3月16日-09:00|日本| ||貞元2年2月24日|戊刻、良巽両方角に彗星見ゆ
977年4月20日-04:30|アフリカ| ||<死去>カズ朝君主「ボリキーン」
977年4月20日-04:30|アフリカ| ||<即位>カズ朝第5代君主「サブクティーン」(~09970805死去)
977年11月-01:00|イタリア| ||<死去>サルノ公「キサル1世」
977年11月-01:00|イタリア| ||<即位>サルノ公「Pandulf1世Ironhead」(~981.3死去)
977年11月24日-09:00|日本| ||貞元2年10月11日|<就任>関白:藤原頼忠(~寛和2年6月23日寛和の変によって失脚)太政大臣
978年-04:00|ジョージア| ||<即位>アブハズ王「ハゲラト3世」(⇒1008年グルジア国王~10140507死去)
978年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| ||<即位>シャダート朝国王「マルバン・ヒンムハド」(~985年)
978年-03:30|イラン| ||<即位>スィヤール朝第4代君主「カーブス・ブン・ワシムキール」(~1012年死去)
978年-03:00|イラク/イラン| ||<死去>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマーン地方)アミール「イスマイル・ウッタウラ」
978年-03:00|ペルシア| ||<死去>ホロク公「ロウロト」
978年-03:00|イラク/イラン| ||<即位>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマーン地方)アミール「アズト・ウッタウラ」(~9830326死去)
978年-01:00|イタリア| ||<解任>ウエロナ辺境伯「Henry3世 the Younger」
978年-01:00|ドイツ| ||<就任>西フランク大公「オットー1世老公」(~982年)
978年-01:00|イタリア| ||<就任>ウエネツィア共和国第24代ドージェ(元首)「ウイターレ・カンティアーノ」(~979年)
978年-01:00|フランス| ||<就任>トゥールーズ伯「キョム3世」(~1037.9死去)
978年-01:00|オーストリア/スロベニア| ||<即位>ケルテン公「オットー1世老公」兼ウエロナ辺境伯(~985年)
978年-01:00|イタリア| ||<即位>サルノ侯「パンドルフ1世アイアンヘッド」(~981年3月死去)
978年-01:00|オーストリア/スロベニア| ||<廃位>ケルテン公「ハイリヒ1世」
978年 00:00|ポルトガル| ||<死去>コインブラ伯「Rodrigo Velasquez」(~989年死去)
978年 00:00|マン島| ||<就任>マン王「Gudhfridhr Haraldsson」(~989年死去)
978年2月10日-08:00|中国| ||于阗・中興1年|<即位>于阗・尉遲達磨(-985年)/年号を中興とする(-985年)
978年3月18日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリス王「エドワード 殉教王」継母エルフリダによって暗殺される/約16歳
978年5月18日-01:00|フランス| ||<死去>上ロリングア公・ハル伯「フレリク1世」
978年5月18日-01:00|フランス| ||<即位>上ロリングア公・ハル伯「ティエリ1世」(~10260411死去)
978年5月18日 00:00|イギリス| ||<即位>イギリス王「エドワード 2世無思慮王」エドワードとエルフリダの男子(1期目~1013年後半亡命)
978年6月11日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<死去>キエフ大公「ヤロフルク1世」
978年6月11日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<即位>キエフ大公「ウラジミール1世(聖公)」(~10150715死去)
978年6月11日-08:00|中国| ||宋・太平興國3年5月3日|<廃位>呉越第5代皇帝「忠懿王(錢弘俶)」北宋の太宗の勅命により、梁に入りその地に留められた/呉越の疆域を北宋に献じ、自らは淮海国王、漢南国王、南陽国王、許王、鄧王に封じられ呉越国はここにその幕が下ろされた
978年8月-01:00|ドイツ/フランス| ||「西フランク王」ロタール(ロタル)、エクス・ラ・シャペルに侵攻し、奇襲攻撃を行なってドイツ王・「神聖ローマ皇帝」オットー2世(オットー1世の子)を捕らえる寸前まで持ち込む
978年10月-01:00|フランス/ドイツ| ||ドイツ王・「神聖ローマ皇帝」オットー2世、反撃しパリ近郊まで侵攻
978年12月31日-09:00|日本| ||天元1年11月29日|貞元から天元に改元
979年-04:00|ロシア| ||<復位>アゴロト公「ウラジミール・スヴァトスラヴィチ」(~988年)
979年-03:30|イラン| ||<死去>ハサンウェイット朝国王「Hasanwayh」
979年-03:30|イラン| ||<死去>パハント朝太守「Rustam2世」
979年-03:30|イラン| ||<即位>パハント朝太守「al-Marzuban」(~986年退位)
979年-01:00|イタリア| ||<就任>ウエネツィア共和国第25代ドージェ(元首)「トリブーノ・マンモ」(~991年)
979年-01:00|フランス| ||<就任>オーベルニュ伯「Guy1世」(~989年)
979年-01:00|スペイン| ||<就任>リャゴルダ伯「Arnold」Raymond2世の息子(~990年)
979年 00:00|イギリス| ||<死去>ケウイット王「イコ・アブ・イワル」
979年 00:00|イギリス| ||<即位>ケウイット王「ハウェル・アブ・イワフ」(~985年死去)
979年1月31日-07:00|ベトナム| ||大瞿越・太平10年|大瞿越・丁部領とその子の丁璉が宮廷の侍衛の杜積により殺害されると、後継の丁は幼少であったため、黎桓は丁部領夫人の楊太后(楊雲娥)と私通、王朝の実権を掌握
979年2月28日-09:00|日本| ||天元2年1月29日|<任命>鎮守府将軍「藤原千方」(~不詳)
979年4月9日-08:00|中国| ||宋・太平興國4年;北漢・広運6年3月10日|宋、北漢を攻める/遼、北漢をたすける
979年6月3日-08:00|中国| ||宋・太平興國4年5月6日|<退位>北漢第4代皇帝「英武帝(劉繼元)」宋に投降、北漢を滅ぼす(宋の天下統一)
979年6月29日-09:00|日本| ||天元2年6月3日|<死去>藤原こう子(生年947年、円融天皇の中宮)
979年8月1日-08:00|中国| ||遼・保寧11年;宋・太平興國4年7月6日|遼、宋を大いに破る
979年8月3日-01:00|ドイツ| ||<死去>マクセン辺境伯「ティートマル1世」
979年8月3日-01:00|ドイツ| ||<就任>マクセン辺境伯「リクタック」(982年以降メルケブルク辺境伯~985年死去)
979年10月24日-07:00|ベトナム| ||大瞿越・太平10年10月|<死去>丁朝皇帝「先皇帝(丁部領)」
979年10月24日-07:00|ベトナム| ||大瞿越・太平10年10月|<即位>丁朝皇帝「廢帝」丁部領の次男(~980年)
979年11月17日-08:00|中国| ||遼・保寧11年;太平興國4年10月25日|遼、宋を破る
979年12月17日-08:00|中国| ||遼・乾亨1年11月25日|遼・景宗が乾亨(-982年)と改元
980年-04:00|ロシア| ||ウラジミールはルマノの軍勢を率いてウゴロトに帰還し、ホロクを蹂躪/ヤロフルクは野戦で弟に抗す

1000迄 (1173件)

ることができずウジミルとの和平交渉に応じてそこで殺された

- 980年-03:30|イラン| ||トルコ系カラハン朝がサマン朝の領土イフイジーヤブに侵入占領
- 980年-03:00|サウジアラビア| ||<即位>メッカ・シャリフ「イサー・ブン・ジヤファール」(~994年死去)
- 980年-02:00|ギリシャ| ||<設立>アトスに聖ジョージ・サ・ゾグラーフ(ゾグラーフ)修道院
- 980年-01:00|フランス| ||<就任>ピゴール伯「Garcia Lupus」(~1030年)
- 980年-01:00|ベルギー| ||<就任>リエージュ公「ホイ伯ノッカー」建国(~10080414死去)
- 980年 00:00|アイルランド| ||<死去>アイルランド 上王「ドナル・マック・ミアチヤタイ」
- 980年 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド 上王「モル・セシュリン・モル・マック・ドムネイル(マキ大王)」(1回目~1002年)
- 980年1月21日-08:00|中国| ||宋・太平興國5年;遼・乾亨2年春|大遼が再び大挙して侵攻/遼軍が敗走/瓦橋関を守る宋軍では耶律休哥の軍に敵しえず、敗北
- 980年1月21日-07:00|ベトナム| ||安南・天福1年|<即位>前黎朝皇帝「大行皇帝(黎桓)」建国(~応天12年3月8日(1005年4月19日)死去)天福と改元(-988)、丁朝滅亡
- 980年2月7日-09:00|日本| ||天元3年1月18日|<死去>韶子内親王(生年918年/皇族、賀茂斎院)
- 980年5月17日-09:00|朝鮮| ||高麗・太平興國5年4月|高麗、米布の利息を定める
- 980年7月-01:00|フランス/ドイツ| ||ロトリケン伯の領有権紛争で独仏王が和平協定を締結
- 980年7月18日-08:00|中国| ||遼・乾亨2年6月4日|喜隠、また謀反/祖州で囚われる
- 980年7月28日-09:00|日本|京都府京都市|天元3年6月14日|山鉾巡行の祇園祭り始まる
- 980年8月22日 07:00|日本|京都府京都市|天元3年7月9日|暴風雨により宮中諸門・羅城門が倒壊/京中民家倒れる
/以後、羅城門は再建されなかった
- 980年10月-01:00|イタリア| ||<即位>イタリア王(ザクセン朝) 皇帝オットー2世[オットー1世の子](~9831207)
- 980年11月8日-09:00|日本| ||天元3年9月28日|<死去>源博雅(生年918年/公卿、雅楽家)
- 980年11月21日-08:00|中国| ||遼・乾亨2年;宋・太平興國5年10月11日|遼、宋を攻める
- 980年12月22日-09:00|日本|京都府京都市|天元3年11月22日|主殿寮より出火し内裏の大部分焼亡
- 980年12月26日-08:00|中国| ||遼・乾亨2年;宋・太平興國5年11月17日|遼、軍を還す
- 981年-04:00|ロシア| ||ウラジミールはボラーントと戦い、ガール地方(現在のウクライナ西部)の奪取に成功
- 981年-03:30|イラン| ||<即位>ハサンウェイット 朝国王「Badr ibn Hasanwayh」(~1014年)
- 981年-03:00|イェメン| ||<即位>シャイイト 朝アミール「Abdallah ibn Ishaq」(~1012年)
- 981年-01:00|ベルギー| ||<死去>ナミュール伯「ロベール1世」
- 981年-01:00|フランス| ||<死去>ナント伯「Hoe11世」
- 981年-01:00|フランス| ||<死去>ブルターニュ公「オエル1世」
- 981年-01:00|フランス| ||<就任>ナント伯「Guerech」Hoe11世の兄弟(~988年死去)
- 981年-01:00|イタリア| ||<即位>サルノ王マンソ1世[アマルフ侯](~983)
- 981年-01:00|ニジェール| ||<即位>ソンガイ王国国王「クワイ」(~993年)
- 981年-01:00|フランス| ||<即位>ブルターニュ公「グエリス」アラン2世とジュテイトの庶子(~988年死去)
- 981年1月9日-09:00|日本|福井県敦賀市|天元3年12月01日|気比大神宮寺が雷火により焼亡
- 981年2月8日-08:00|中国| ||宋の使節団が西域の高昌国へ到達
- 981年3月-01:00|イタリア| ||<死去>ベネチア大公兼カプア公・スレート公・サルノ公「パンダール1世 Ironhead」/ベネチアとカプアが分離
- 981年3月-01:00|イタリア| ||<即位>サルノ公「パンダール2世」(~9820713死去);「Manso」(~983年)
- 981年3月-01:00|イタリア| ||<即位>スレート公「ランタール」(~9820713死去)
- 981年3月-01:00|イタリア| ||<即位>ベネチア大公「パンダール2世」(~1014.8死去)
- 981年4月7日-08:00|中国/ベトナム| ||安南・天福2年;宋・太平興國6年3月|宋軍が陸海路でベトナムに進攻するが黎桓が撃退
- 981年6月-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<死去>シルヴァンシャー 朝国王「Ahmad1世」
- 981年6月-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<即位>シルヴァンシャー 朝国王「Muhammad4世」前王の息子(~991.11死去)
- 981年6月14日-08:00|中国| ||遼・乾亨3年5月10日|上京の漢軍、乱をおこし、喜隠を立てる/さらに留礼寿(喜隠の子)を立てる
- 981年7月29日-08:00|中国| ||遼・乾亨3年7月29日|留礼寿、殺される
- 981年8月11日-09:00|朝鮮| ||安南・天福2年7月9日|<即位>高麗王「成宗」(~9971129死去)
- 982年-05:30|インド| ||<死去>ラシュトラクタ朝国王「インドラ4世」ラシュトラクタ朝が滅亡
- 982年-05:30|インド| ||このころシュラヴァナベルゴラのジャイ教像建てられる
- 982年-01:00|フランス| ||<死去>メコン伯「Aubry2世」
- 982年-01:00|フランス| ||<就任>ブルターニュ伯「オットーキヨム」(~10260921死去)兼メコン伯(~1002年)
- 982年-01:00|フランス| ||<就任>メス伯「Gerhard3世」(~1022年退位~1024年死去)
- 982年-01:00|フランス| ||<就任>メス・パライン伯「フォルマ1世」(~995年)
- 982年-01:00|スペイン| ||<即位>ガルシア王「ベルムート2世」(⇒984年兼レオン国王~999年死去)
- 982年-01:00|ルウェー| ||ルウェー人の赤毛のエイリックがグリーンランドを発見し、上陸
- 982年1月28日-07:00|ベトナム| ||安南・天福3年|<即位>チャンパ王「インドラヴァルマン4世」(~986年)
- 982年1月28日-07:00|ベトナム| ||安南・天福3年|ベトナムの黎桓がチャンパを攻撃し首都インドラヴァラを攻め落とした
- 982年3月28日-09:00|日本| ||天元5年3月1日|日蝕あり
- 982年4月26日-08:00|中国/モンゴル| ||遼・乾亨4年;宋・太平興國7年4月|遼、宋を攻める
- 982年5月26日-08:00|中国/モンゴル| ||遼・乾亨4年5月|遼、軍を還す

1000迄 (1173件)

- 982年7月-01:00|ト`イ/イタリヤ| |||ト`イ王オット-2世がコロネでアラフ`人に大敗
982年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<死去>カフ`ア公「ランダ`ル6世」戦死
982年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<死去>カレ`ツツ君主「Abu' l-Qasim Ali ibn al-Hasan al-Kalbi」
982年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<死去>サレルノ公「ハ`ンダ`ル2世」戦死
982年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<死去>スホ`レート公「ランダ`ル」戦死
982年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<死去>マヤン`ン境界伯「ギ`ンター」戦死(生年生年未詳)
982年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<即位>カフ`ア公「ランデ`ナル2世」(~993年死去)
982年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<即位>カレ`ツツ君主「Jabir al-Kalbi」(~983年)
982年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<即位>スホ`レート公「トランスモン`3世」(~989年)
982年10月13日-08:00|中国| ||遼・乾亨4年9月24日|<死去>遼可汗「景宗耶律賢」年35
982年10月14日-08:00|中国| ||遼・乾亨4年9月25日|<即位>遼可汗「聖宗耶律隆緒」(~1031年6月)
982年10月20日-09:00|日本| ||天元5年10月|慶滋保胤「池亭記」を著わす
982年10月31日-01:00|ト`イ/スイス| |||<死去>シュウ`アーベ`ン大公・ハ`イルン大公「オット-1世」
982年10月31日-01:00|ト`イ/スイス| |||<即位>シュウ`アーベ`ン大公「コンラート1世」(~9970820死去)
982年12月5日-09:00|日本|京都府京都市|天元5年11月17日|宣耀殿より出火し内裏焼亡
983年-04:30|アフガ`ニスタン| |||<死去>ブ`ワイ朝(ライ政権・ハマタ`ン政権)アミール「ムアイヤト`ウダ`ウラ」
983年-04:00|アルメニア| |||<即位>ウ`アス`ラカン王「ケルゲ`ン・ハチ(ケルゲ`ン4世)」(~1003年)
983年-03:00|イラク| |||<即位>マルワ`ン朝「Abu Shuja Badh ibn Dustak」ジ`ヤス`イ`ラの北部地域デ`ヤール・ハ`クルを占領、建国(~990年)
983年-01:00|ト`イ| |||<就任>ルトマル`ン境界伯「ロ`タル」(~10030125死去)
983年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カレ`ツツ君主「Ja' far al-Kalbi」(~985年)
983年-01:00|イタリヤ| |||<即位>サレルノ公「ジ`ジョン2世the Accursed」(~994年)
983年-01:00|ト`イ/オーストリア| |||<即位>ハ`イルン大公「ハイリヒ3世若年公」(~985年退位~9891005死去)
983年-01:00|ト`イ| |||スラフ`人がト`イ王国に対して反乱、エルベ`川以東が失われる
983年 00:00|イ`リス| |||<即位>グ`ウェント王「Gruffydd ap Elisedd」、「Rhodri ap Elisedd」(~1015年)
983年 02:00|グ`リーランド`/アイスランド`| |||<就任>グ`リーランド`統治者「Eiríkr "the Red" Thorvaldsson」(~1010年死去)
983年1月12日-09:00|日本| ||天元5年12月26日|<死去>源高明(生年914年/皇族)
983年2月16日-08:00|中国| ||宋・太平興國8年|宋で大蔵経が印刷される
983年3月17日-09:00|朝鮮| ||高麗・太平興國8年2月1日|高麗が12枚を定め初めて地方官を派遣
983年3月26日-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ブ`ワイ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「サムサム`ウダ`ウラ」アス`ト`ウダ`ウラの子(~987年退位~998.12死去)
983年3月26日-03:30|イラン| |||<即位>ブ`ワイ朝(ファールス地方)アミール「シャラフ`ウダ`ウラ」アス`ト`ウダ`ウラの子(~9890906死去)
983年3月26日-03:00|イラク/イラン| |||<死去>ブ`ワイ朝(イラク地方・ケルマン地方・ファールス地方)アミール「アス`ト`ウダ`ウラ」
983年4月17日-09:00|日本|京都府京都市|天元6年3月2日|中納言・源重光宅(一条北大宮東)焼亡
983年5月29日-09:00|日本| ||永観1年4月15日|天元から永観に改元
983年6月14日-09:00|朝鮮| ||高麗・太平興國8年5月|高麗が中央官制を制定
983年7月10日-01:00|ハ`チン| |||<死去>第135代ローマ教皇「ベ`ネ`クトゥス7世」
983年7月22日-08:00|中国| ||契丹・統和1年6月10日|遼・聖宗が統和(-1012年)と改元/国号を遼より契丹に戻す
983年12月-01:00|ハ`チン| |||<就任>第136代ローマ教皇「ヨハネス14世」(~09840820死去)
983年12月1日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・統和1年;高麗・太平興國8年10月24日|契丹、高麗を攻める
983年12月7日-01:00|ト`イ/オーストリア/フランス/イタリヤ| |||<死去>フランク`ローマ帝国皇帝・イタリヤ王・ト`イ王「オット-2世赤帝」
983年12月7日-01:00|ト`イ/オーストリア/フランス/イタリヤ| |||<就任>フランク`ローマ帝国宰相「マインツ大司教ウイリギ`ス」(1回目~25日)
983年12月7日-01:00|イタリヤ| |||<即位>イタリヤ王「フランク`ローマ帝国宰相マインツ大司教ウイリギ`ス」(~25日)
983年12月25日-01:00|ト`イ/オーストリア/フランス/イタリヤ| |||<就任>フランク`ローマ帝国摂政「テオファヌ」(~09900615死去)
983年12月25日-01:00|ト`イ/イタリヤ| |||<即位>ト`イ王・イタリヤ王「オット-3世」オット-2世の息子(⇒09960521、フランク`ローマ帝国皇帝~10020124没)
984年-07:00|カホ`ジ`ア| |||アンコル朝でハ`ケイ`チャンロン寺院が建立
984年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「シ`タヒ`ン」(~986年)僭主
984年-04:30|アフガ`ニスタン| |||<即位>ブ`ワイ朝(ハマタ`ン政権・ライ政権)アミール「ファル`ウダ`ウラ」(~997.10死去)
984年-01:00|フランス| |||<死去>コンフラン`ン境界伯「Miro3世」
984年-01:00|スペイン| |||<死去>サルダ`ニャ伯「Miro3世」
984年-01:00|チュニジ`ア/アルジ`ェリア/リビア| |||<死去>ス`イル朝アミール「ブルギ`ン・イブン`ス`イリ」
984年-01:00|スペイン| |||<死去>ベ`サル伯「Miro2世Bonfill」
984年-01:00|スペイン| |||<就任>ベ`サル伯「Oliba Cabreta」(~988年)
984年-01:00|イタリヤ| |||<即位>アマルフィ公「アデ`ルファ`マンソ」の対立王(~986年)
984年-01:00|チュニジ`ア/アルジ`ェリア/リビア| |||<即位>ス`イル朝アミール「アル`マンズール`イブン`ブルギ`ン」(~995年死去)
984年-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王「ベルム`ド`2世」ガ`ルシア王(~999年死去)
984年-01:00|スペイン| |||<退位>レオン国王「ラムロ3世」(~09850626死去)
984年1月24日-08:00|中国| ||宋・太平興國8年12月19日|宋代の代表的な類書「太平御覽」1000巻が完成
984年2月5日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永観2年|戒算、真正極楽寺(真如堂)創建
984年4月18日-09:00|日本|京都府京都市|永観2年3月15日|右京大臣・藤原兼家の東三条第(二条南西洞院東)が焼

亡

- 884年6月2日-09:00|朝鮮| ||高麗・太平興國8年5月|高麗が軍人の服色を制定
- 884年8月20日-01:00|バチカン| ||<再任>対立ローマ教皇「ホニファティウス7世」(~09850720死去)
- 884年8月20日-01:00|バチカン| ||<死去>第136代ローマ教皇「ヨハネス14世」
- 884年9月24日-09:00|日本| ||永観2年8月27日|<踐祚>「65代花山天皇」10月10日即位(~09860623)
- 884年9月24日-09:00|日本| ||永観2年8月27日|<退位>「第64代円融天皇」
- 884年11月25日-08:00|中国| ||宋・雍熙1年11月|宋の太宗趙炅が雍熙(-987年)と改元
- 884年11月26日-09:00|日本| ||永観2年11月|源為憲が出家した尊子内親王に三宝絵を献じた
- 884年12月23日-09:00|日本| ||永観2年11月28日|針博士丹波康頼が「医心方」30巻をまとめる(初の医学書)
- 884年12月23日-09:00|日本| ||永観2年11月28日|破銭法、饗祿禁制など贅沢取り締まり令が発布
- 885年-05:30|インド| ||<死去>チョーラ朝国王「ウッタマ」
- 885年-05:30|インド| ||<即位>チョーラ朝国王「ラーゼ・ヤラージ・ヤ1世」(~1014年死去)
- 885年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| ||<即位>シャッタート朝国王「アル・ファトル1世・ヒン・ムハンマド」(~1031年死去)
- 885年-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| ||<再位>ケルテン公「ハインリヒ1世」兼ウエー罗纳辺境伯「Henry3世 the Younger」(~981005死去)
- 885年-01:00|ドイツ| ||<死去>マイェン辺境伯「リクダック」
- 885年-01:00|ドイツ| ||<就任>マイェン辺境伯「エックハルト1世」ギェンターの長男(~10020430死去)
- 885年-01:00|イタリア| ||<即位>カビッツ君主「Abdallah al-Kalbi」(~990年)
- 885年-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<退位>ハインル大公「ハインリヒ3世若年公」(~9891005死去)
- 885年-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<復位>ハインル大公「ハインリヒ2世」(~9950828死去)
- 885年 00:00|イギリス| ||<死去>ゲウイスト王「ハウェル・アフ・イーアーフ」
- 885年 00:00|イギリス| ||<即位>ゲウイスト王「カドワロン・アフ・イーアーフ」(~986年死去)
- 885年 02:00|グリーンランド/アイスランド| ||グリーンランドをアイスランド領地として北欧の移民によって植民地化
- 885年1月24日-08:00|中国| ||大理・明政17年|<死去>前大理第5代皇帝「応道帝(段素順)」
- 885年1月24日-08:00|中国| ||大理・明政17年|<即位>前大理第6代皇帝「昭明帝(段素英)」(~1009年)
- 885年1月24日-08:00|中国| ||宋・雍熙2年|<即位>ホータン王「尉遲僧伽羅摩」(~999年)
- 885年1月26日-09:00|日本| ||永観3年1月3日|<死去>慈恵大師良源(延暦寺・中興の祖)
- 885年5月19日-09:00|日本| ||寛和1年4月|源信が「往生要集」を著す
- 885年5月19日-09:00|日本| ||寛和1年4月27日|永観から寛和に改元
- 885年5月24日-09:00|日本| ||寛和1年5月2日|<死去>尊子内親王(生年966年/賀茂斎院、円融天皇の女御)
- 885年6月12日 00:00|アイスランド| ||<就任>アイスランド連邦共和国政府(アルシング)法話者「トルグ・イル・ソケルソ」(~1002年)
- 885年6月26日-01:00|スペイン| ||<死去>元レオン国王「ラミロ3世」
- 885年7月20日-01:00|バチカン| ||<死去>対立ローマ教皇「ホニファティウス7世」
- 885年7月21日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・統和2年;高麗・雍熙2年7月1日|契丹、高麗を攻める
- 885年8月19日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||契丹・統和3年8月1日|契丹、軍を還す
- 885年8月20日-01:00|バチカン| ||<就任>第137代ローマ教皇「ヨハネス15世」(~09960401死去)
- 886年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラカン国王「ミン・ナンギ」(~1014年)
- 886年-04:30|アフガニスタン| ||カブール朝のサフケイギーンがこのころイスラム化
- 886年-03:30|イラン| ||<即位>バハント朝太守「Sharwin3世」⇒「Shahriyar3世」(~987年退位)
- 886年-03:30|イラン| ||<退位>バハント朝太守「al-Marzuban」
- 886年-02:00|ブルガリア/トルコ| ||ビザンティン帝バシレイオス2世が第一次ブルガリア遠征
- 886年-01:00|アルバニア/ブルガリア| ||アルバニアをブルガリアが占領(~1005年)
- 886年-01:00|ルウェー| ||グリーンランドに、エイク率いるルウェー人が植民
- 886年 00:00|イギリス| ||<死去>ゲウイスト王「カドワロン・アフ・イーアーフ」
- 886年2月12日-08:00|中国| ||于阗・天興1年|<即位>于阗(-999年)尉遲僧伽羅摩/年号を天興とする(-999年)
- 886年2月12日-08:00|中国| ||大理・広明1年|大理国・段素英が広明と改元(-1009)
- 886年2月12日-07:00|ベトナム| ||安南・天福7年|<即位>チャンパ王「劉繼宗」(~988年)
- 886年3月1日-09:00|日本|京都府京都市|寛和2年1月18日|東京大失火、左京火事。一条大路南・中御門北数町焼く。24町に及ぶ
- 886年3月2日-01:00|フランス| ||<死去>西フランク王「ロテル」
- 886年3月18日-08:00|中国| ||宋・雍熙3年2月5日|西夏の李繼遷、宋に叛き契丹に附く
- 886年4月12日-09:00|日本| ||寛和2年3月|朝廷が沽買法を制定
- 886年4月17日-08:00|中国| ||宋・雍熙3年;契丹・統和4年3月6日|宋、契丹を攻める
- 886年6月8日-01:00|フランス| ||<即位>西フランク王「ルイ5世怠惰王」ロテルの子(~09870521死去)
- 886年8月1日-09:00|日本| ||寛和2年6月23日|<就任>摂政・藤原兼家
- 886年8月1日-09:00|日本| ||寛和2年6月23日|<踐祚>「66代一条天皇」7月22日即位(~10110613)
- 886年8月1日-09:00|日本| ||寛和2年6月23日|<退位>「花山天皇」近習らとともに清涼殿から失踪
- 886年8月17日-02:00|ブルガリア/トルコ| ||<トラヤヌスの戦い>第一次ブルガリア帝国が東ローマ帝国に勝利
- 886年11月1日-01:00|デンマーク/ルウェー| ||<死去>デンマーク王・ルウェー王「ハラル1世・ゴルスソ」
- 886年11月1日-01:00|デンマーク/ルウェー| ||<即位>デンマーク王「スヴェン1世双叉髭王」ハラル1世青歯王とギユリスの息子(~10140203死去)兼ルウェー王(~995年)
- 886年12月14日-08:00|中国| ||契丹・統和4年;宋・雍熙3年11月11日|契丹、宋を攻める

1000迄 (1173件)

- 987年-03:30|イラン| |||<即位>バハント朝太守「al-Marzuban」(~998年)
987年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「シャフ・ウッタウラ」アスト・ウッタウラの子(~989096
死去)
987年-03:30|イラン| |||<退位>バハント朝太守「Shahriyar3世」
987年-03:30|イラン/イラク| |||<退位>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「サムサム・ウッタウラ」(~998.12死去)
987年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウァルイーニ公「フセフ・オロト・ウラジミロウイチ」(~1013年)
987年-01:00|ベルギー-| |||<死去>シニ伯「Otto1世」
987年-01:00|ベルギー-| |||<就任>シニ伯「Louis1世」(~10250929死去)
987年-01:00|フランス| |||<就任>オウエル伯「Otto-William」(~992年)
987年-01:00|フランス| |||<就任>フランク王国ウエルマントワ伯「Herbert3世」(~1015年)
987年 00:00|イギリス| |||<死去>デハバース王「オウエイン・アブ・ハウェル」
987年 00:00|イギリス| |||<即位>デハバース王「Maredudd ab Owain」(~999年死去)
987年 00:00|ポルトガル| |||イスラム教徒によってコインブラ再占領(~10640709)
987年 07:00|メキシコ| |||トルカのクアルアン王がマヤのチチェン・イツァを征服
987年2月1日-09:00|朝鮮| ||高麗・雍熙4年|この年、高麗が開城の五部坊里(区画制度)を定める
987年2月15日-08:00|中国| ||契丹・統和5年1月15日|契丹、軍を還す
987年3月30日-01:00|フランス/ベルギー-| |||<死去>フランドル伯・サン・ホル伯「Arnulf2世」
987年3月30日-01:00|フランス/ベルギー-| |||<就任>フランドル伯・サン・ホル伯「ホードヴァン4世」(~10350530死去)
987年5月-01:00|イタリア| |||<即位>ベネント大公「ラトル5世」(~1014.8)
987年5月5日-09:00|日本| ||永延1年4月5日|寛から永延に改元
987年5月21日-01:00|フランス| |||<死去>西フランク王「ルイ5世怠惰王」ハリの北東コンピエーニュとハリの北サリス間の森で狩猟
中、落馬により(20歳)後継者もなく「カロリング朝・西フランク王国」が断絶
987年6月29日-09:00|日本| ||永延1年6月1日|彗星、東西天に見ゆ
987年7月3日-01:00|フランス| |||<即位>フランス王(カペー朝)「ユグ・カペー」(~9961024死去)
987年7月21日-01:00|フランス| |||<死去>アンジュー伯「ジヨワワ1世灰衣伯」
987年7月21日-01:00|フランス| |||<就任>アンジュー伯「フルク3世黒顔伯」ジヨワワ1世灰衣伯とアデルト・モーの息子(~1040062
1死去/68歳)
987年8月8日-09:00|日本| ||永延1年7月中旬|毎夜彗星東西天に見ゆ
987年10月21日-09:00|日本| ||永延1年9月26日|<死去>兼明親王、皇族(生年914年)
988年-07:00|ベトナム| |||ベトナムの攻撃を受けたチャンパがウイジャヤに遷都
988年-04:00|ロシア| |||<即位>スモレンスク公「スタニスラフ・ウラジミロウイチ」(~1015年)
988年-04:00|ロシア| |||<即位>トムタラニ公「ムスチスラフ・ウラジミロウイチ」(~1035年死去キエフ公国に統合)
988年-04:00|ロシア| |||<即位>ノヴゴロド公「グイシスラフ・ウラジミロウイチ」(~1010年)
988年-04:00|アゼルバイジャン| |||<即位>ラフディット朝君主「Mamlan1世」(~1000年)
988年-04:00|ロシア| |||キエフ公国のウラジミール王がキリシア正教を国教に制定
988年-03:30|イラン| |||<即位>ブワイフ朝(ケルマン地方)アミール「バハル・ウッタウラ」(~10121222死去)
988年-03:00|バールン/ウクライナ| |||<即位>トウロフ公「スガット・ルク・ウラジミロウイチ」(~1019年死去)
988年-01:00|フランス| |||<死去>ナント伯・ブルターニュ公「グエリス」
988年-01:00|フランス/スペイン| |||<就任>コンフラン伯・サルターニャ伯「Wilfred2世」(~1035年)
988年-01:00|スペイン| |||<就任>バルセロナ伯「ラモン・ボレイ」ボレイ2世の子。ウラジエイ伯(父王とともに共同統治⇒992年単独
統治~1017年死去)
988年-01:00|フランス/ベルギー-| |||<就任>フランドル伯「ホードヴァン4世」Arnulf2世の息子(~10350530死去)
988年-01:00|スペイン| |||<就任>ベルナルド伯「Bernard1世」(~1020年死去)
988年-01:00|スペイン| |||<就任>ベルガ伯「Oliva」(~1002年)
988年-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公・ナント伯「アラン」グエリスとアラン・ユルジュー・ダンスの1人息子(~990年死去/9歳)
988年-01:00|アンドラ| |||ウケル伯「レル2世」はカタルーニャの土地と引き換えに、アンドラの一部をウケル司教に譲渡
988年-01:00|クロアチア| |||フィウメはクロアチア王国の一部(1102年から、ハンガリーと連合)
988年1月22日-08:00|中国| ||契丹・統和6年|契丹最初の科挙を実施、一人及第
988年1月22日-08:00|中国| ||宋・端拱1年1月|宋の太宗趙炅が端拱(-989年)と改元
988年2月13日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ伯「Adalbert Atto」
988年2月13日-01:00|イタリア| |||<就任>マントヴァ伯「Tebald」(~1007年)
988年5月6日-01:00|オランダ| |||<死去>ホラント伯「ティル2世」
988年5月6日-01:00|オランダ| |||<就任>ホラント伯「アルヌフ」(~9930918死去)
988年10月11日-09:00|日本| ||広島県廿日市市|永延2年8月28日|線刻阿弥陀仏鏡像(宮島中村隆燈氏蔵)成る
988年11月1日-08:00|中国| ||契丹・統和6年;宋・端拱1年9月19日|契丹、宋を攻める/々州失陥、忻州失陥、新楽失
陥
988年11月14日-09:00|日本| ||永延2年10月3日|<任命>鎮守府将軍「藤原文脩」(~不詳)
989年-08:00|インドネシア| |||<即位>スンダ王国マハラジャ「Prabu Brajawisesa」(~1012年)
989年-04:00|アルメニア| |||<死去>ハグ・ラトゥニ朝アルメニア王「スハト2世」
989年-04:00|アルメニア| |||<即位>ハグ・ラトゥニ朝アルメニア王「ガキク1世」(~1020年)
989年-04:00|アルメニア| |||<即位>ロウ王「ティグ・イット1世」(~1048年)
989年-03:00|イラク/シリア・アラブ| |||<即位>ハムダーン朝アミール「アブ・ターヒル・イブラヒム」(~997年)「アブ・アッダラ・アル・フサイン」(~9

1000迄 (1173件)

97年)

- 989年-03:00|ベラルーシ |||<即位>ホロック公「イジヤスラフ・ウラジミロウイチ」(~1001年死去)
- 989年-01:00|スペイン |||<就任>アンプリアス伯「Hugh1世」(~1040年)
- 989年-01:00|フランス |||<就任>オーベルニュ伯「William4世」(~1016年)
- 989年-01:00|イタリア |||<即位>スレート公「フゴ1世大王」(~996年)
- 989年 00:00|マン島 |||<死去>マン王「Gudhfridhr Haraldsson」
- 989年 00:00|マン島 |||<就任>マン王「Rognvaldr Gudhfridharson」(~1005年死去)
- 989年 00:00|イギリス |||<即位>グウィットをサクスウェルズが統治(~999年)
- 989年2月9日-07:00|ベトナム |||安南・興統1年|<即位>チャンパ王「ハリガアルマン2世」(~997年)
- 989年2月9日-07:00|ベトナム |||安南・興統1年|前黎朝1代・黎桓が興統と改元(-993)
- 989年2月9日-08:00|中国 |||契丹・統和7年1月1日|契丹、軍を還す
- 989年3月2日-08:00|中国 |||契丹・統和7年1月22日|契丹、易州を陥れる(燕雲十五州となる)
- 989年6月10日-09:00|日本 |||永延3年5月5日|藤原兼家が関白となる
- 989年6月18日-08:00|中国 |||宋・端拱2年・契丹・統和7年5月13日|宋、契丹を攻める
- 989年7月6日-09:00|日本 |||永延3年6月1日|彗星、東西天に見ゆ
- 989年8月14日-09:00|日本 |||永延3年7月中旬|毎夜彗星東西天に見ゆ
- 989年8月18日-08:00|中国 |||契丹・統和7年・宋・端拱2年7月15日|契丹、宋を攻める
- 989年9月6日-03:30|イラン/イラク |||<死去>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマーン地方・ファールス地方)アミール「シャラフ・ウッタウラ」
- 989年9月6日-03:30|イラン |||<即位>ブワイフ朝(ファールス地方)アミール「サムサム・ウッタウラ」アズド・ウッタウラの子(~998.12死去)
- 989年9月6日-03:00|イラク |||<即位>ブワイフ朝(イラク地方)アミール「ハハー・ウッタウラ」アズド・ウッタウラの子(~10121222死去)
- 989年9月10日-09:00|日本 |||永祚1年8月8日|永延から永祚に改元
- 989年9月15日-09:00|日本 |||永祚1年8月13日|<永祚元年畿内暴風雨「永祚の風」>酉戌刻(18時から20時ごろ)大風/皇居を囲む門や殿舎の多くが倒潰/諸官庁やその他の建物及び都の左京、右京の人家など倒潰した建物の数は数え切れない/鴨川の堤防も所々決壊/賀茂神社の上社、下社及び境内の建物をはじめ著名な都の神社や寺院も倒潰/畿内各国(山城、大和、河内、和泉、摂津)では洪水や高潮で、海や浜、川辺の民家、人々や家畜たち、田畑が皆無くなった
- 989年10月5日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア |||<死去>ケルテン公「ハインリヒ1世」兼グエロナ辺境伯「Henry3世 the Younger」
- 989年10月5日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア |||<即位>ケルテン公「ハインリヒ2世」兼グエロナ辺境伯(~9950828死去)
- 990年-05:30|インド |||<即位>ハラマラ朝国王「Sindhuraja」Siyaka2世の息子(~1010年)
- 990年-04:00|ロシア |||<即位>ロストフ公「ヤロスラフ・ウラジミロウイチ」(~1010年)
- 990年-03:00|イラク |||<即位>マルワーン朝「アルハサン・イブン・マルワーン」(~997年)
- 990年-03:00|イラク/シリア・アラブ |||アラブのサーサ族がジャズィーラ、イラク、北シリアにカイル朝を建国
- 990年-02:00|ウクライナ |||<即位>トレガリャーネ公「スヴヤトスラフ・ウラジミロウイチ」(~1015年死去)
- 990年-02:00|シリア・アラブ/トルコ |||<即位>ヌマイド朝「Waththab ibn Sabi al-Numayri」(~1019年)
- 990年-01:00|フランス |||<死去>ブルターニュ公・ナント伯「アラン」9歳
- 990年-01:00|スペイン |||<就任>リバゴルザ伯「Isarn」Raymond2世の息子(~1003年)
- 990年-01:00|イタリア |||<即位>カビッツ君主「Yusuf al-Kalbi」(~998年)
- 990年-01:00|フランス |||<即位>ブルターニュ公・ナント伯・レンヌ公「コナン1世」レンヌ伯「デイクエル」と「ジェルベルク」(アラン2世の娘とも)の長男(~9920627死去)
- 990年 00:00|イギリス |||<即位>グワイディング王「Ithel the Black」(~990年)、「Rhys ab Owain」(~1000年)、「Hywel ab Owain」(~1043年)、「Iestyn ab Owain」(~1015年)
- 990年1月30日-09:00|朝鮮 |||高麗・淳化1年|高麗、西京に修書院を開設
- 990年1月30日-08:00|中国 |||宋・淳化1年|北宋・太宗趙炅が淳化(-994年)と改元
- 990年3月1日-09:00|日本|京都府京都市|永祚2年2月2日|西寺焼亡
- 990年5月31日-09:00|日本 |||永祚2年5月5日|<就任>関白:藤原兼家(~永祚2年5月8日)
- 990年6月3日-09:00|日本 |||永祚2年5月8日|<就任>関白:藤原道隆
- 990年6月15日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア |||<死去>フランク・ローマ帝国摂政「テオファヌ」
- 990年6月15日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア |||<就任>フランク・ローマ帝国摂政「アーデルハイト・フォン・ブルグント」(~09940706)
- 990年6月21日-09:00|日本 |||永祚2年5月26日|<就任>摂政:藤原道隆
- 990年11月26日-09:00|日本 |||正暦1年11月7日|永祚から正暦に改元
- 990年12月28日-08:00|モンゴル |||契丹・統和8年12月9日|契丹、李繼遷を封じて夏国王とする
- 991年-08:00|インドネシア |||<即位>ケイリ王国国王「ダラムアンジャ」(~1016年)
- 991年-05:30|スリランカ |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Sena5世」Mahinda4世の息子(~1001年)
- 991年-03:30|イラン/イラク |||<即位>アブド王「Abul-Fath Mohammad bin Annaz」(~1011年)
- 991年-02:00|シリア・アラブ |||<即位>ハムタン朝(アレクソ)アミール「サイド・アッタウラ」(~1002年)
- 991年-01:00|イタリア |||<死去>モンフェラート侯「アレーモ」
- 991年-01:00|フランス |||<死去>ルション伯「Gausfred1世」
- 991年-01:00|イタリア |||<就任>ヴェネツィア共和国第26代トージェ(元首)「ヒエトロ・ルセオロ2世」(~1009年)
- 991年-01:00|フランス |||<就任>ルション伯「Giselbert1世」(~1014年死去)
- 991年-01:00|イタリア |||<即位>モンフェラート侯「オットー1世」アレーモの次男(~同年死去)⇒「グリエルモ3世」オットー1世の長男(

1000迄 (1173件)

~1042. 1死去)

- 991年1月16日-09:00|日本| ||正暦1年12月28日|<死去>平兼盛(生年生年未詳/公家、歌人、三十六歌仙の一人)
- 991年1月19日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|正暦2年|日牟禮八幡宮創建
- 991年1月19日-08:00|中国/モンゴル| ||契丹・統和9年|契丹に女真が服属
- 991年3月1日-09:00|日本| ||正暦2年2月12日|<死去>第64代「円融天皇」/33歳(誕生:天徳3(959)0302)
- 991年5月18日-09:00|日本|京都府京都市|正暦2年4月2日|太皇太后昌子の三条御所焼亡
- 991年6月-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Yazid3世」前王の兄弟(~1027. 11死去)
- 991年8月10日 00:00|イギリス| ||<モルトンの戦い>英国モルトンの太守ブルフトノスがヴァイクを迎え撃つも敗北
- 991年10月26日-09:00|日本| ||正暦2年9月16日|女院号開始以後女院号は三后、准母、内親王などに
- 991年10月30日-03:00|イラク| ||<退位>ハゲダート・アッハース朝第24代カリフ「ターイ」(~10030803死去)
- 991年11月-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Muhammad4世」
- 991年11月1日-03:00|イラク| ||<即位>ハゲダート・アッハース朝第25代カリフ「カーディル」(~10311129死去)
- 992年-08:00|インドネシア| ||東ジャワで強大化したサングジャ朝マーン王国のダルマヴァンシャ王がシュリーヴァンジャに侵入、略奪
- 992年-03:30|イラン| ||カラハン朝のブルークラーガサーマン朝を破りブルハを一時占領
- 992年-02:00|ギリシャ| ||<設立>アトスにフィロテオ(聖クリストム)修道院
- 992年-01:00|イタリヤ| ||<死去>フレリ公「マリヌ2世」
- 992年-01:00|フランス| ||<死去>メヌ伯「ヒュ-2世」
- 992年-01:00|ベルギー-| ||<就任>ナミュール伯「アルベール1世」(~1011年死去)
- 992年-01:00|フランス| ||<就任>ナント伯「Judicael」(~1004年死去)
- 992年-01:00|フランス| ||<就任>ヌヴェール伯「Landri」(~1028年)
- 992年-01:00|フランス| ||<就任>メヌ伯「ヒュ-3世」(~1015年死去)
- 992年-01:00|オランダ| ||<設立>ソーンのアヘンイクト会修道院(ソーン教区)
- 992年-01:00|モンテネグロ/セルビア| ||<即位>ドゥカリヤ公「ヨヴァン・ウラジミル」(~10160522死去)
- 992年-01:00|イタリヤ| ||<即位>フレリ公「セルギウス3世」(~997年)
- 992年4月8日-09:00|日本| ||正暦3年3月3日|<死去>輔子内親王(生年953年/皇族、伊勢斎宮)
- 992年5月25日-01:00|ポーランド| ||<死去>ポーランド公「ミェシュコ1世」
- 992年5月25日-01:00|ポーランド| ||<即位>ポーランド公「ボレスワフ1世ワボルキ」ミェシュコ1世の息子(⇒10250418王~10250617死去)
- 992年6月27日-01:00|フランス| ||<死去>ブルターニュ公・ナント伯・レンヌ公・レンヌ伯「コナン1世」
- 992年6月27日-01:00|フランス| ||<即位>ブルターニュ公・レンヌ公・レンヌ伯「ジョフロワ1世」コナン1世とエルマンガルト=ジゼルベルガ・ダンユーの長子(~10081120死去)
- 992年9月-09:00|日本|京都府京都市左京区|正暦3年秋|真如堂を建立
- 992年9月30日-01:00|アンドラ| ||<死去>ウルシエイ伯「Borrel12世」
- 992年9月30日-01:00|アンドラ| ||<就任>ウルシエイ伯「Ermengol1世el de Cordova」(~10100901コルトバで戦死)
- 992年12月27日-09:00|朝鮮| ||高麗・淳化3年12月|高麗が国士監を創設
- 992年12月27日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・統和10年;高麗・淳化3年12月|契丹、高麗を攻める
- 993年-05:30|スリランカ| ||ラジャラージャ1世が率いる南インド系(タミル系)のチョーラ王朝軍が、アヌラダプラを征服
- 993年-01:00|フランス| ||<死去>下ロランギア公「シャルル1世」
- 993年-01:00|スペイン| ||<死去>ハルセウ伯「ホレ2世」
- 993年-01:00|フランス| ||<就任>プロヴァンス伯「キヨム2世」キヨム1世の子(~1018年)
- 993年-01:00|フランス| ||<即位>下ロランギア公「オトン」シャルルの子(~1012年死去)
- 993年-01:00|イタリヤ| ||<即位>カプア公「ライタール」(~999年死去)
- 993年-01:00|ニジェール| ||<即位>ソンガイ王国国王「ケンケン」(~1005年)
- 993年2月11日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・統和11年;高麗・淳化4年1月17日|契丹、高麗と講和
- 993年2月19日-09:00|日本|京都府京都市|正暦4年1月25日|前健大納言・源重光第が焼亡
- 993年2月24日-09:00|朝鮮| ||高麗・淳化4年2月|高麗が常平倉を兩京、12枚に置く
- 993年2月24日-08:00|中国| ||宋・淳化4年2月|四川で王小波らによる均産一揆
- 993年3月13日-01:00|ドイツ| ||<死去>オスタマルク辺境伯「ホルト-1世(オド-1世)」
- 993年3月13日-01:00|ドイツ| ||<就任>オスタマルク辺境伯「ケロ2世」(~10150901死去)オド-1世の甥、ティートマル1世の子
- 993年4月24日-09:00|日本|京都府京都市|正暦4年3月30日|摂政・藤原道隆の東三条南院が焼亡
- 993年5月16日-09:00|日本| ||正暦4年4月22日|<就任>関白:藤原道隆(~長徳元年4月3日)
- 993年8月20日-09:00|日本|京都府京都市|正暦4年8月|疱瘡流行/多く死者が出た
- 993年9月18日-01:00|オランダ| ||<死去>ナント伯「アルヌフ」
- 993年9月18日-01:00|オランダ| ||<就任>ナント伯「ティルク3世」(~10390527死去)
- 993年10月19日-01:00|フランス/スイス| ||<死去>ブルグント王「コンラート」
- 993年10月19日-01:00|フランス/スイス| ||<即位>ブルグント王「ルドルフ3世」(~10320906死去、ブルグント王国は神聖ローマ帝国に併合され、ブルグント王位もローマ王位に統合)
- 993年11月19日-09:00|朝鮮/中国| ||高麗・淳化4年;契丹・統和11年閏10月3日|高麗、契丹に使を遣わす
- 994年-04:00|ジョージア| ||<死去>イベリア王「バグラト1世」
- 994年-04:00|ジョージア| ||<即位>イベリア王「グルゲン」(~1008年死去)
- 994年-03:30|イラン| ||アフラク朝のタイルム人とトルコ部隊がアフワズで戦闘
- 994年-03:00|サウジアラビア| ||<死去>メッカ・シャリフ「イサー・ブン・ジャファール」

1000迄 (1173件)

- 994年-03:00|サウジアラビア| |||<即位>メッカ・シャリフ「アブ・アル・フトウ・アル・ハサン・ブン・ジヤアファール」(~1012年)
- 994年-01:00|イタリヤ| |||<即位>サレルノ公「ガイマル3世」(~1027年死去)
- 994年2月3日-01:00|フランス| |||<死去>アキテーヌ公「キヨム4世」兼「ワティエ伯「キヨム2世」
- 994年2月3日-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「キヨム5世」(~10300131死去)
- 994年2月13日-08:00|中国| ||宋・淳化5年|李繼遷が再び兵を起こしてオドスの各州城を攻め、宋軍の反撃に遭って李繼捧は捕縛、李繼遷は密かに遁走、謝罪し許しを請うた
- 994年2月13日-07:00|ベトナム| ||安南・応天1年|前黎朝1代・黎桓が応天と改元(-1007)
- 994年3月15日-09:00|朝鮮| ||高麗・統和12年2月|高麗、契丹統和年号を施行
- 994年4月23日-09:00|日本| ||正暦5年3月10日|<死去>藤原高光(生年939年/公家、僧、歌人)
- 994年7月10日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリア辺境伯「レオルト1世」54歳
- 994年7月10日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア辺境伯「ハインリヒ1世」(~10180623死去)
- 994年7月12日-09:00|朝鮮/中国| ||高麗・統和12年;宋・淳化5年6月|高麗、宗との通交を絶つ
- 994年8月15日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|正暦5年7月6日|高野山金剛峯寺の大塔、講堂などが雷火で焼失
- 994年8月20日-09:00|日本| ||正暦5年7月11日|<死去>藤原道信(生年972年/公家、歌人、中古三十六歌仙の一人)
- 994年12月-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王・ハンソ・ローナ王「サンチョ・ガルセス2世」
- 994年12月-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王・ハンソ・ローナ王「ガルシア・サンチェス2世」サンチョ・ガルセス2世とウカ・フェルナデスの男子(~1004年死去)
- 995年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>アフリキッド朝シャ「Abu ' Abdallah Muhammad」
- 995年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>クワズミヤ朝シャ「Abu ' l-Ali Ma' mun ibn Muhammad」(~997年)
- 995年-03:30|イラン| |||<即位>マム朝シャ「Abu ' l-Ali Ma' mun ibn Muhammad」(~997年死去)
- 995年-03:00|マダガスカル| |||このころまでに、マダガスカル島住民が共通の文化圏を形成
- 995年-02:00|ブルンジ/ルワンダ| |||このころまでに、農耕民ツの移住が定着
- 995年-01:00|スペイン| |||<死去>カステイリャ伯「Garcia Fernandez」
- 995年-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「エリク6世(勝利)」
- 995年-01:00|チュニジア/リビア/アルジェリア| |||<死去>スィール朝アミール「アル=マンズール=イブン=ブルギーン」
- 995年-01:00|フランス| |||<死去>トロア・モー伯「Herbert3世」
- 995年-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<死去>ノルウェー王「ホコン・シグルトソン」デンマーク総督
- 995年-01:00|スペイン| |||<即位>カステイリャ伯「Sancho Garcia」(~10170205死去)
- 995年-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア・ハン「クヴァアルダ」(~1000年)
- 995年-01:00|フランス| |||<即位>シャルトル伯「Thibaut2世」(~10040711死去)
- 995年-01:00|フランス| |||<即位>シャンパニュ伯・トロア・モー伯「エティエンヌ1世」(~1020年死去)
- 995年-01:00|フランス| |||<即位>メス・パティン伯「Folmar2世」(~1026年)
- 995年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「オロフ・ストクヌン」(~1022年死去)
- 995年-01:00|チュニジア/リビア/アルジェリア| |||<即位>スィール朝アミール「ハデ・イブ・マンズール」(~1016年死去)
- 995年-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「オラウ1世トリクベソン」(~10000909死去)
- 995年-01:00|フランス| |||<退任>シャルトル伯「ウード1世」
- 995年-01:00|ノルウェー| |||ハロカランドはノルウェーの一部になる
- 995年-01:00|モンテネグロ/ブルガリア| |||モンテネグロはブルガリアの家臣(~1018年)
- 995年 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「ケネス2世兄弟殺し王」
- 995年 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「コンスタンティン3世」カンの息子(~997年死去)
- 995年2月3日-09:00|日本|滋賀県大津市|正暦6年|恵心僧都、浮御堂(海門山満月寺)建立
- 995年2月3日-08:00|中国| ||宋・至道1年|<即位>元惹王「烏昭慶」(~996年)
- 995年2月3日-08:00|中国| ||宋・至道1年|北宋・太宗趙昀が至道(-997年)と改元
- 995年2月11日-09:00|日本|京都府京都市|正暦6年1月9日|冷泉上皇の御所鴨院関白道隆及び内大臣伊周の二条第焼亡
- 995年3月25日-09:00|日本| ||長徳1年2月22日|正暦から長徳に改元
- 995年5月29日-09:00|日本| ||長徳1年4月27日|<即位>関白:藤原道兼(~長徳元年5月8日在官中に薨御)
- 995年6月2日-09:00|日本| ||長徳1年5月2日|<死去>藤原道綱母(生年936年/歌人、藤原兼家の妻、女房三十六歌仙の一人)
- 995年8月28日-01:00|イタリヤ| |||<再任>ヴェロナ辺境伯「Otto1世」(~10041104死去)
- 995年8月28日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリヤ| |||<死去>ケルテン公「ハインリヒ2世」兼ヴェロナ辺境伯
- 995年8月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>バイエルン大公「ハインリヒ2世」
- 995年8月28日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルテン公「ハインリヒ3世」(~1002年)
- 995年8月28日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<即位>バイエルン大公「ハインリヒ4世(聖公)」皇帝ハインリヒ2世(~10040321、義理の兄弟であるルクセンブルク伯ハインリヒ5世にバイエルンを授けた)
- 995年9月27日-09:00|朝鮮| ||高麗・統和13年9月|高麗、10道を定め州県制を施行
- 996年-03:00|タンザニア| |||<即位>キルワ・スルタン「Ali ibn Bashat」(~1001年)
- 996年-01:00|ドイツ| |||<死去>ロトリンギア宮中伯「ヘルマン1世瘦身伯」
- 996年-01:00|フランス| |||<即位>オセル伯「Eudes Henri」(~1002年)
- 996年-01:00|ドイツ| |||<即位>ロトリンギア宮中伯「エッツォ(エルフリート)」(~10340321死去)
- 996年-01:00|イタリヤ| |||<即位>スペレート公「コンラット」(~998年)

1000迄 (1173件)

- 996年1月23日-08:00|中国| ||宋・至道2年|<即位>天山ウイグル王国可汗「ボギュービルケ・テングリ・イグ」
- 996年1月23日-08:00|中国| ||宋・至道2年|宋太宗は40万粟の兵糧を靈州へ運んだが途上で李繼遷によって全てを略奪された
- 996年2月7日-09:00|日本| ||長徳2年1月16日|<長徳の変>藤原道隆の遺児である藤原伊周が通っていた故太政大臣藤原為光の娘三の君と同じ屋敷に住む四の君(藤原儼子)に花山法皇が通いだしたところ、それを伊周は自分の相手の三の君に通っているのだと誤解し、弟の隆家に相談。隆家は従者の武士を連れて法皇の一行を襲い法皇の衣の袖を弓で射抜く
- 996年3月12日-01:00|フランス| ||<死去>ブローノ伯・シャトダン伯「ウート1世」
- 996年3月12日-01:00|フランス| ||<就任>シャトダン伯・ブローノ伯「Theobald2世」(~10040711死去)トゥール伯
- 996年4月1日-01:00|パチカン| ||<死去>第137代ローマ教皇「ヨハネス15世」
- 996年4月12日-01:00|イタリヤ| ||<即位>イタリヤ王「オットー3世」ローマ皇帝。オットー2世の子、オットー1世の孫(~10020123病死)
- 996年4月21日-09:00|日本| ||長徳2年4月|<長徳の変>藤原隆家が出雲権守に左遷/伊周は勅命によるもの以外は禁止されている呪術である大元帥法を密かに行ったとして大宰権帥に左遷/その他中関白家に連なる面々が連座して処断、伊周の叔父高階信順は伊豆権守へ左遷、高階道順が淡路権守へ左遷/大江以言が飛騨権守へ左遷
- 996年4月21日-09:00|朝鮮| ||高麗・統和14年4月1日|高麗、鉄銭を鑄造
- 996年5月3日-01:00|パチカン| ||<就任>第138代ローマ教皇「グレゴリウス5世」(~09990218死去)
- 996年5月21日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ| ||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝「オットー3世」ドイツ王・イタリヤ王(~10020124没)
- 996年6月26日-09:00|日本|京都府京都市|長徳2年6月8日|中宮・藤原定子の二条宮(東三条院東町)焼亡
- 996年10月14日-02:00|エジプト/チュニジア| ||<死去>ファーティマ朝第5代カリフ「アル=アジズ・ビラー」
- 996年10月14日-02:00|エジプト/チュニジア| ||<即位>ファーティマ朝第6代カリフ「アル=ハキム・ヒ=アミール=アラ」(~10210213死去)
- 996年10月24日-01:00|フランス| ||<死去>フランス王(カペー朝)兼パリ伯「ユーク・カペー」享年58(938年生)
- 996年10月24日-01:00|フランス| ||<就任>パリ伯「ブシャル1世」(~1005年)
- 996年10月24日-01:00|フランス| ||<即位>フランス王(カペー朝)「ロベール2世(敬虔王)」ユーク・カペーの子(~10310720死去)
- 996年11月-02:00|エジプト| ||ハキムがファーティマ朝カリフとなる
- 996年11月20日-01:00|フランス| ||<死去>ノルマンディー公「リシャル1世無怖公」
- 996年11月20日-01:00|フランス| ||<即位>ノルマンディー公「リシャル2世善良公」(~10260828死去)
- 996年12月28日-09:00|日本|京都府京都市|長徳2年11月16日|北野社焼亡
- 997年-07:00|ベトナム| ||安南・興統1年|<即位>チャンパ王「シュリーヴ・インジャウ・アルマン」(~1007年)
- 997年-05:30|インド| ||<即位>後期チャールキヤ朝国王「Satyashraya」(~1008年)
- 997年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>クワズミヤ朝シャー「Abu l-Hasan Ali ibn Ma'mun」(~1008年)
- 997年-03:30|イラン| ||<死去>マムニ朝シャー「Abu l-Ali Ma'mun ibn Muhammad」
- 997年-03:30|イラン| ||<即位>マムニ朝シャー「Abu al-Hasan 'Ali」(~1009年死去)
- 997年-03:00|イラク| ||<即位>マルワーン朝「Mumahhid al-Dawla Said」(~1010年)
- 997年-02:00|ブルガリア| ||<即位>ブルガリア帝国皇帝「サミュエル」(~10141006死去)
- 997年-01:00|クロアチア| ||<死去>クロアチア王「ステイブント・トルジスラフ」
- 997年-01:00|フランス| ||<就任>フランク王国ヴェルマントワ伯「Albert2世」(~1035年)
- 997年-01:00|クロアチア| ||<即位>クロアチア王「スヴェトスラフ・スロニヤ」(~1000年死去)
- 997年-01:00|イタリヤ| ||<即位>パトリック公「ジョン4世」(~1002年)
- 997年-01:00|セルビア/ブルガリア| ||セルビアはブルガリアの一部となる(~1018年3月)
- 997年-01:00|チュニジア| ||ティルスで船乗りやアヴァースがファーティマ朝の支配に反乱
- 997年 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド王「コンスタンティン3世」
- 997年 00:00|イギリス| ||<死去>ストラスカイト王「Mael Coluim」
- 997年 00:00|ポルトガル| ||<死去>ブロンカ伯「Goncalo Mendes」
- 997年 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガール伯「メンド・ゴンサレス」(~10081006死去)
- 997年 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド王「ケネス3世首領/茶毛王」ダフの息子(~10050325死去)
- 997年 00:00|イギリス| ||<即位>ストラスカイト王「Eogan mac Domhnaill (Owen2世)」(~1015年死去)
- 997年2月1日-01:00|ハンガリー| ||<死去>ハンガリー大公「ゲザ」
- 997年2月1日-01:00|ハンガリー| ||<即位>ハンガリー大公「ヴァイク・イシュトヴァーン・フィア・ジエウ」(⇒10001225、ハンガリー王「シュテファン1世」~10380815死去)
- 997年4月24日-08:00|中国| ||契丹・統和15年3月15日|契丹、夏国王李繼遷を封じて西平王とする
- 997年5月-01:00|パチカン| ||<就任>対立ローマ教皇「ヨハネス16世」(~998.2退位)
- 997年5月8日-08:00|中国| ||宋・至道3年3月29日|<死去>北宋第2代皇帝「太宗(趙炅)」享年57[939年10月17日生~]
- 997年5月8日-08:00|中国| ||宋・至道3年3月29日|<即位>北宋第3代皇帝「真宗」(乾興元年2月19日(1022年3月23日)死去)
- 997年7月23日-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| ||<死去>サーマン朝第8代アミール「ヌー72世」
- 997年7月23日-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| ||<即位>サーマン朝第9代アミール「マンズール2世」(~9990202暗殺される)
- 997年8月-01:00|スペイン| ||西ウマイヤ朝軍がキリスト教徒の聖地サンティアゴを略奪
- 997年8月5日-04:30|アフリカ| ||<死去>ガスタ朝第5代君主「サブケ・ティギーン」
- 997年8月5日-04:30|アフリカ| ||<即位>ガスタ朝第6代君主「イスマーイル」(~998年)

1000迄 (1173件)

997年8月20日-01:00|トイツイス| |||<死去>シュウアーベン大公「コンラート1世」
997年8月20日-01:00|トイツイス| |||<即位>シュウアーベン大公「ヘルマン2世」(~10030504死去)
997年10月-04:30|アガニスタン| |||<死去>ブワイフ朝(ハマーン政権・ライ政権)アミール「ファフル・ウッダウラ」
997年10月-04:30|アガニスタン| |||<即位>ブワイフ朝(ハマーン政権)アミール「シャムス・ウッダウラ」(~1021年死去)
997年10月-04:30|アガニスタン| |||<即位>ブワイフ朝(ライ政権)アミール「マジット・ウッダウラ」(~1029年死去)
997年10月1日-09:00|日本| ||長徳3年8月27日|<死去>清和源氏・源経基の嫡男で多田源氏の祖・源満仲(86歳)
997年11月3日-09:00|日本|長崎県|長徳3年10月1日|南蛮人が壱岐、対馬などに乱入
997年11月29日-09:00|朝鮮| ||高麗・統和15年10月27日|<死去>高麗王「成宗」
997年11月29日-09:00|朝鮮| ||高麗・統和15年10月27日|<即位>高麗王「穆宗」第5代国王景宗の長男(~10090302死去)
998年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>カラハン朝ハン「アフマド1世アルスラン」アリー・アルスラン・ハンの子(~1017年)
998年-04:30|アガニスタン| |||<即位>ガズナ朝第7代国王「マフムド」(~10300430死去)ホラサンの支配を確立
998年-03:30|イラン| |||<即位>パハント朝太守「Shahriyar3世」⇒「al-Marzuban」(~1006年)
998年-03:30|イラン| |||<復位>スィヤール朝第4代国王「カーブース・ブン・ワシムキール」(~1012年死去)
998年-01:00|フランス| |||<就任>ウァロア伯・ウァイクン伯「Walter2世」前伯爵の息子(~1017年)
998年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カビッツ君主「Ja'far al-Kalbi」(~1019年)
998年-01:00|イタリヤ| |||<即位>スレート公「アッハマー」(~999年)
998年-01:00|ノルウェー| |||<即位>ヘテマルケン王「Rorik Dagsson」(~1018年)、「Ring Dagsson」(~1018年)
998年-01:00|オランダ| |||<復位>エノー伯「レニ4世」(~1013年死去)
998年1月31日-08:00|中国| ||宋・咸平1年|北宋・真宗趙恒が咸平(-1003年)と改元
998年2月-01:00|パチン| |||<退位>対立ローマ教皇「ヨハネス16世」
998年2月14日-09:00|日本| ||長徳4年1月15日|<任命>鎮守府将軍「藤原兼光」(~不詳)
998年5月8日-09:00|日本|京都府京都市|長徳4年4月10日|松尾祭で田楽の間に雑人争い、京人多数死亡
998年5月8日-09:00|日本|京都府京都市|長徳4年4月10日|神祇官斎院舎焼亡
998年8月19日-09:00|日本| ||長徳4年7月25日|<死去>藤原佐理(生年944年/公卿、能書家)
998年10月28日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| |||<死去>アルテンヌ伯「ジークフリート」
998年10月28日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| |||<就任>アルテンヌ伯「ハインリヒ1世」ジークフリート1世の息子(~10260227死去)、「キセルハルト1世」(~10040518没)
998年12月-03:30|イラン| |||<死去>ブワイフ朝(ファールス地方)アミール「サムサム・ウッダウラ」
998年12月-03:30|イラン| |||<即位>ブワイフ朝(ファールス地方・ケルマーン地方)アミール「ハハー・ウッダウラ」アズド・ウッダウラの子(~10121222死去)
998年12月22日-09:00|朝鮮| ||高麗・統和16年12月|高麗が田柴科制度を改定し品階制を制定
999年-05:30|インド| |||<即位>東チャールキヤ朝君主「Shaktivarman1世」(~1011年)
999年-05:30|インド| |||<即位>チャンドラ朝国王「Ganda-Deva」(~1002年)
999年-03:00|エジプト| |||<即位>ラッシー朝イマーム「アルマンサー・アルガジム・アルイヤ・ニ・ヒン・アリ」アルハデ・イ・イラハック・ヤヤの従兄弟の血筋(~1002年退位~10030711死去)
999年-03:00|エジプト| |||<退位>ラッシー朝イマーム「アッタ・イ・ユーサフ」
999年-01:00|イタリヤ| |||<死去>カプア公「ライタール」
999年-01:00|スペイン| |||<死去>レオン国王「ベルムド2世」ガルスア王
999年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス伯「キヨム2世」キヨム1世の子(~10190304死去)
999年-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王「アルフォンソ5世」(~10280704死去)
999年 00:00|イタリヤ| |||<死去>デハイバース王「マレグット・アブ・ウエイン」
999年 00:00|イタリヤ| |||<即位>グウィネド王「サイナン・アブ・ハウエル」(~1005年死去)
999年 00:00|イタリヤ| |||<即位>ホイス王「ルウェリン・アブ・サイシル」(~1023年死去)
999年 00:00|イタリヤ| |||デハイバースはグウィネドの一部(~1005年)
999年1月2日-09:00|日本| ||長徳4年12月12日|<死去>藤原実方(生年生年未詳/公家、歌人、中古三十六歌仙の一人)
999年1月20日-08:00|中国| ||宋・咸平2年|<即位>ホータン王「尉遲薩格瑪依」(~1005年)
999年2月1日-09:00|日本| ||長保1年1月13日|長徳から長保に改元
999年2月2日-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| |||<死去>サーマン朝第9代アミール「マンスール2世」暗殺される
999年2月3日-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>サーマン朝アミール「アブド・アルマリク2世」(~同年捕らえられる~1004.12獄中で没し、サーマン朝はカラハン朝とガズナ朝に挟撃される形で滅亡)
999年2月7日-01:00|チェコ| |||<死去>ホヘミア公「ホレスラフ2世」
999年2月7日-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア公「ホレスラフ3世」(~1002年5月)
999年2月18日-01:00|パチン| |||<死去>第138代ローマ教皇「グレゴリウス5世」享年27(972年生)
999年4月2日-01:00|パチン/フランス| |||<就任>第139代ローマ教皇「シルヴェステル2世」フランス人の論理学者・天文学者ジェルベール(~10030512死去)
999年7月5日-09:00|日本|京都府京都市上京区|長保1年5月20日|怨霊の祟りを恐れた朝廷が、903年に没した菅原道真に左大臣と正一位を贈り、北野神社を建立して祭る(北野天満宮(天神さま)の始まり)
999年7月29日-09:00|日本|京都府京都市|長保1年6月14日|内裏焼失
999年9月9日-09:00|日本| ||長保1年7月27日|神社仏寺/過差停止/公事催勤が揃った最初の太政官符「長保元年令」発令

1000迄(1173件)

- 999年10月-05:00|キルギス/ウズベキスタン| |||カラハーン朝がブハラを占領し、サーマン朝を滅ぼす
- 999年10月31日-08:00|中国| |||契丹・統和17年;宋・咸平2年9月20日|契丹、宋を攻める
- 999年11月11日-08:00|中国| |||契丹・統和17年;宋・咸平2年10月|契丹軍は遂城で敗れたものの、今度は河北定州などの地を掠め取る
- 1000年-05:30|インド| |||<建国>クムハラシム国
- 1000年-05:30|インド| |||<即位>カーカティヤ朝国王「ハヘータ1世」(~1030年)
- 1000年-05:30|インド| |||この頃がジュホーのカンダール・マハーデーヴァ寺院、ブヴァネーシュワールのリンガラージャ寺院が建立
- 1000年-04:00|アゼルバイジャン| |||<即位>ラフディット朝君主「Husain2世」(~1019年)
- 1000年-01:00|クロアチア| |||<死去>クロアチア王「スヴェトスラフ・スロニヤ」
- 1000年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハンボジエッチ」(~1030年)
- 1000年-01:00|イタリヤ| |||<就任>シュターアマルク辺境伯「Adalbero of Eppenstein」(~1035年)
- 1000年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン辺境伯「エックハルト1世」マイン辺境伯(~10020430死去)
- 1000年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カプア公「アッハマー」⇒「ランタール7世」(~1007年死去)
- 1000年-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア王「クレシミル3世(クレシミル・スロニヤ)」スヴェトスラフ・スロニヤの弟(~1030年死去)、「コニスラフ」スヴェトスラフ・スロニヤの弟(~1020年死去)共同統治
- 1000年-01:00|セルビア| |||<即位>ドゥクラヤ王国国王「St. Jovan Vladimir」(~10160522)
- 1000年-01:00|コンゴ共和国/コンゴ民主共和国| |||コンゴでハンツとピグミーの接触がはじまる
- 1000年-01:00|クロアチア/イタリヤ| |||ラヴーザはヴェネツィア共和国の主権下(~1018年)
- 1000年 00:00|マリ| |||このころまでにニジェール川中流域に鉄器文化が普及
- 1000年 00:00|アイスランド| |||このころ、アイスランドでカトリックが国教化
- 1000年 05:00|コロンビア| |||カリブ族が海岸地帯に侵攻。チブチャ族はボコタなど山間部に追いやられる
- 1000年 05:00|ペルー| |||チム文化が興る
- 1000年 06:00|カナダ/アメリカ| |||この頃アイスランドからライフ・エリクセン、アメリカのヴァイランド(いまのマサチューセッツ州)に上陸
- 1000年1月10日-09:00|日本| |||長保1年12月1日|<死去>昌子内親王(生年950年/第61代朱雀天皇第一皇女、第63代冷泉天皇中宮)
- 1000年2月8日-08:00|中国| |||宋・咸平3年|中国で航海用の磁石コンパスが登場、天子南面すで針は南向き
- 1000年2月8日-08:00|中国| |||契丹・統和18年1月|契丹、軍を還す
- 1000年4月7日-09:00|日本| |||長保2年3月1日|日蝕により、結政参せず
- 1000年9月9日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「オーラフ1世トリクヘソン」
- 1000年9月9日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<就任>ノルウェー総督「エイリック・ハーコンソン」(~1015年)
- 1000年9月9日-01:00|ノルウェー| |||<復位>ノルウェー王「スヴェン1世双叉髭王」(~10140203死去)
- 1000年9月9日-01:00|デンマーク/ノルウェー| |||デンマークがノルウェーの一部(ヴァイクル)を支配(~1015年)
- 1000年9月16日-09:00|日本|京都府京都市|長保2年8月16日|<長保2年鴨川決壊>夜来、鴨川が氾濫しあふれた河水が京の市中に浸水、特に鴨川沿いの京極より西の地域では多くの人や家が流れた
- 1000年10月30日-08:00|中国| |||契丹・統和18年;宋・咸平3年冬|契丹帝国の蕭太后は軽騎数千で楊延昭の部隊を襲った/楊延昭は契丹軍を殲滅
- 1000年11月17日-09:00|日本|奈良県奈良市|長保2年10月19日|東大寺西塔・興福寺喜多院など消失
- 1000年11月29日-09:00|日本| |||長保2年11月|疫病流行し、死者多数
- 1000年12月23日-09:00|日本|京都府京都市南区|長保2年11月25日|京都東寺の宝蔵が焼失し、善通寺の公験などを焼く
- 1000年12月25日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー王「シュテファン1世聖王」建国(~10380815死去)